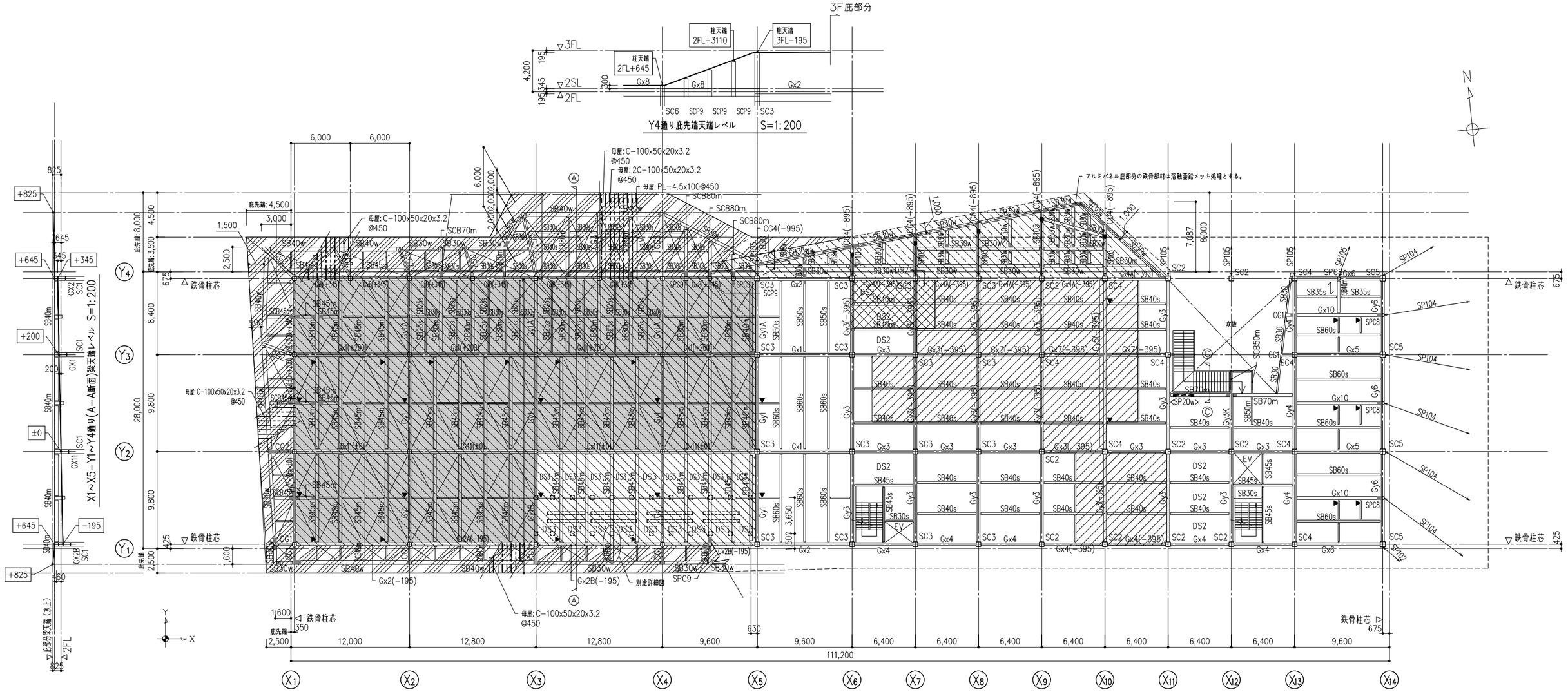
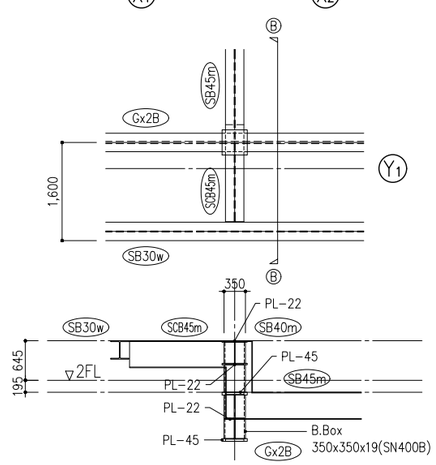




B−B 断面

共 通 事 項

特記なき限り下記による。

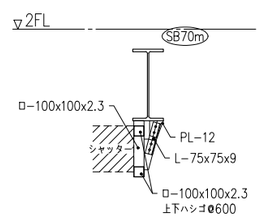
1. スラブ符号は DS1 とする(外周庇母屋部を除く)。
2. 小梁符号は SB25s とする。
3. 躯体レベル

	スラブ上端	大梁上端
	FL− 30	FL− 195
	FL− 130	FL− 395
	FL− 230	FL− 395
	——	1FL−195〜+345
	——	1FL−895
	——	意匠図による (監理者と協議のうえ決定する)

4. ⟷ は スラブ主筋方向、およびデッキ方向を示し、特記なき限り短辺方向を主筋方向とする。
5. ▒ はルーフデッキ範囲を示す。スラブ符号はDS4とする。
6. ——— は 水平ブレース H1 を示す。
   ----- は 水平ブレース H2 を示す。
7. 端部接合

剛接合　ピン接合

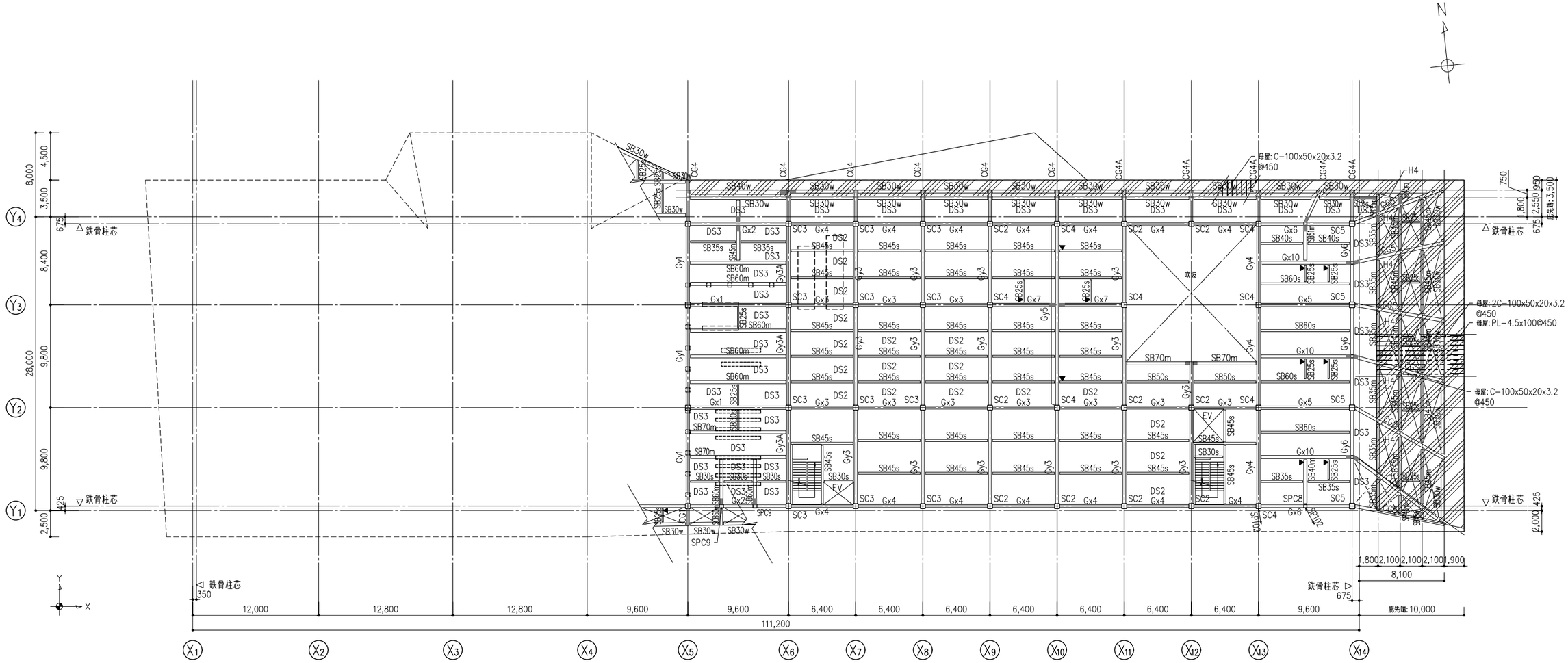
8. ▼ は 横補剛 を示す。
9. ▩ は2FL梁下の吊りポストを示す。
10. <梁符号> は2段梁を示す。
11. 小梁符号 SB○○h は横使いの梁を示す。
12. (　　)内数値は梁上端レベルを示す。
13. スラブが鉄骨梁と取り合わない場合は、スラブまで鉄骨嵩上げ材を使用する。
14. ⟷ は、方杖または斜め吊りポストを示す。
15. [ ] は 設備基礎を示す。
16. ▨ の範囲の鉄骨部材は溶融亜鉛メッキ処理とする。



C−C 断面 S=1:30

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係限定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係限定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 2階伏図	図面番号 S−103 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400 設計年月日 2024.**.**



3階伏図(見下げ図) S=1:400

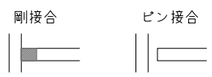
共 通 事 項

特記なき限り下記による。

1. スラブ符号は DS1 とする(外周庇母屋部を除く)。
2. 躯体レベル

	スラブ上端	梁上端
▭	FL− 30	FL− 195
▨	——	意匠図による

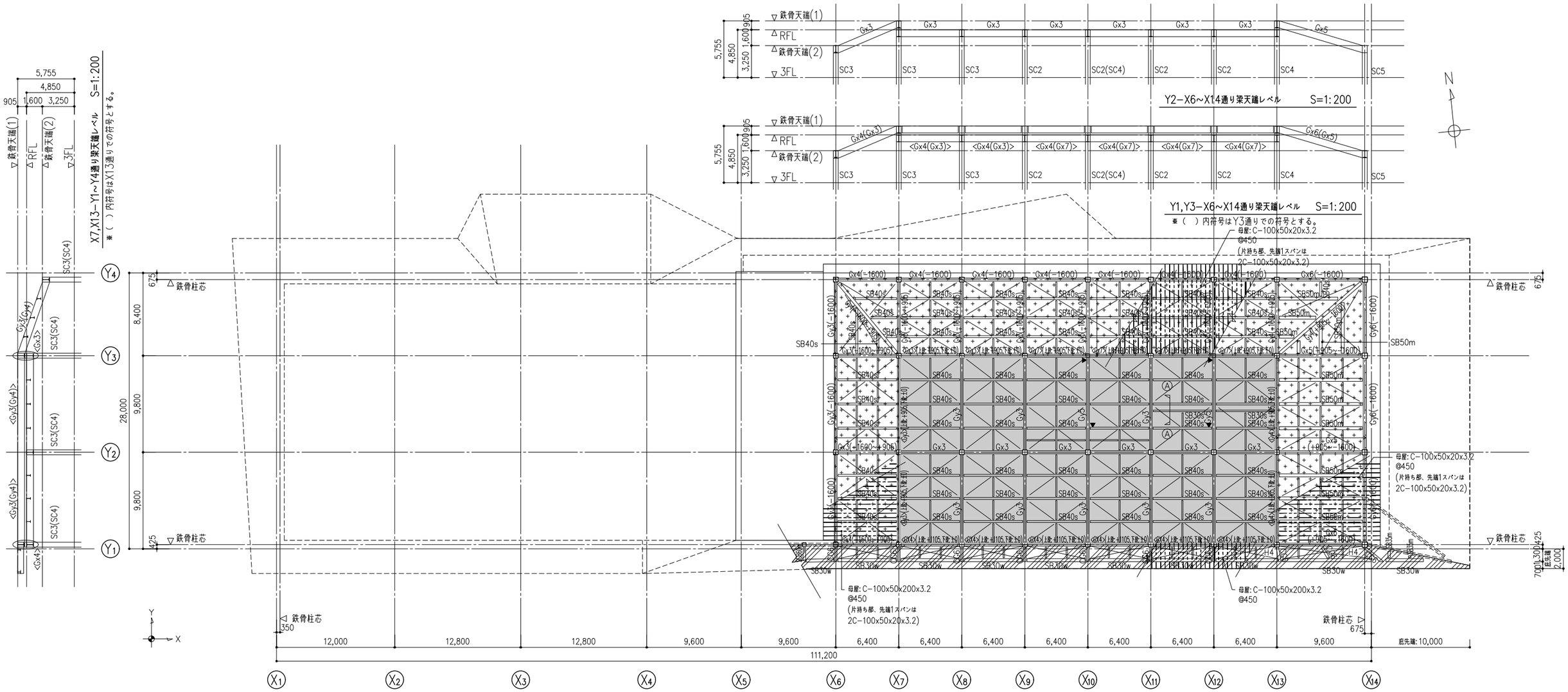
3. ⟷ は スラブ主筋方向 を示し、特記なき限り短辺方向を主筋方向とする。
4. ▭ は 増し打ち を示す。
5. ——— は 水平ブレース H1 を示す。
   — - - — は 水平ブレース H3 を示す。
6. 端部接合



7. 柱の向きは Y X とする。
8. ▼—— は 横補剛 を示す。
9. <梁符号> は二段梁を示す。
10. 小梁符号 SB○○h は横使いの梁を示す。
12. (　　)内数値は梁上端レベルを示す。
13. スラブが鉄骨梁と取り合わない場合は、スラブまで鉄骨嵩上げ材を使用する。
14. 〔‾‾‾〕 は 設備基礎を示す。

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 3階伏図 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	図面番号 S-104 設計年月日 2024.**.**



R階伏図(見下げ図) S=1:400

共 通 事 項

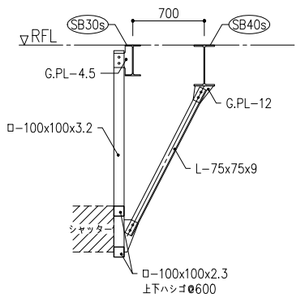
特記なき限り下記による。

1. スラブ符号は − (RCスラブなし)とする。
2. 小梁符号は SB25s とする。
3. 躯体レベル

	スラブ上端	大梁上端
	FL± 0	FL± 0
	FL± 0〜+905	FL± 0〜+905
	——	意匠図による

4. ⟷ は スラブ主筋方向 を示し、特記なき限り短辺方向を主筋方向とする。
5. ▭ はルーフデッキ範囲を示す。スラブ符号はDS4とする。また、梁のレベルは±0とする。
6. ▭ は 増し打ち を示す。
7. ——— は 水平ブレース H1 を示す。
8. 端部接合

9. ▼ は 横補剛 を示す。
10. <梁符号> は二段梁を示す。
11. <梁符号> は二段梁を示す。
12. 小梁符号 SB○○h は横使いの梁を示す。
13. ( )内数値はRSL(1)からの梁上端レベルを示す。
14. スラブが鉄骨梁と取り合わない場合は、スラブまで鉄骨嵩上げ材を使用する。



A−A 断面 S=1:30

詳細は監理者と協議のうえ決定する

設計者に無断で複製を禁ず

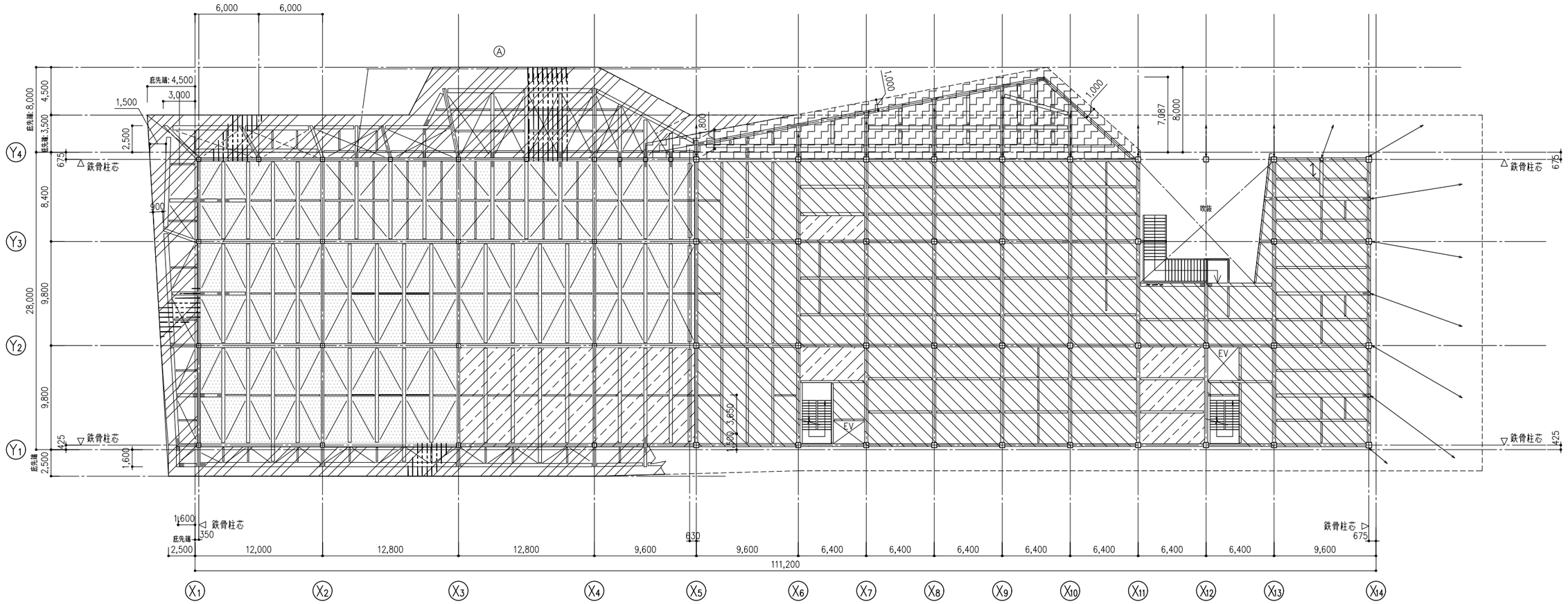
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 R階伏図	縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	図面番号 S−105 設計年月日 2024.**.**

1階伏図(見下げ図)　S=1:400

凡　例
在来RCスラブ
合成デッキ
フラット デッキ
ルーフデッキ
野地板
ハニカムパネル

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 1階スラブ区分図	図面番号 S-106 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400 設計年月日 2024.**.**

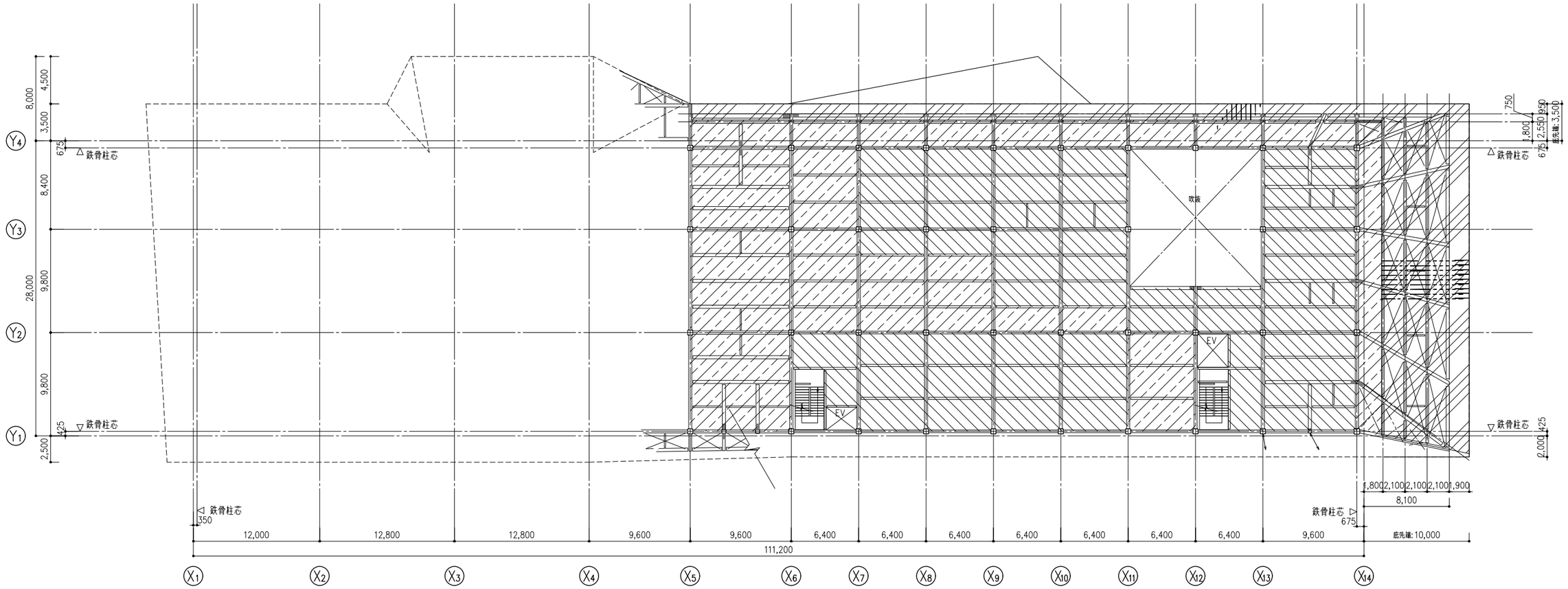


2階伏図(見下げ図) S=1:400

凡 例
在来RCスラブ
合成デッキ
フラットデッキ
ルーフデッキ
野地板
ハニカムパネル

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 2階スラブ区分図 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	図面番号 S-107 設計年月日 2024.**.**



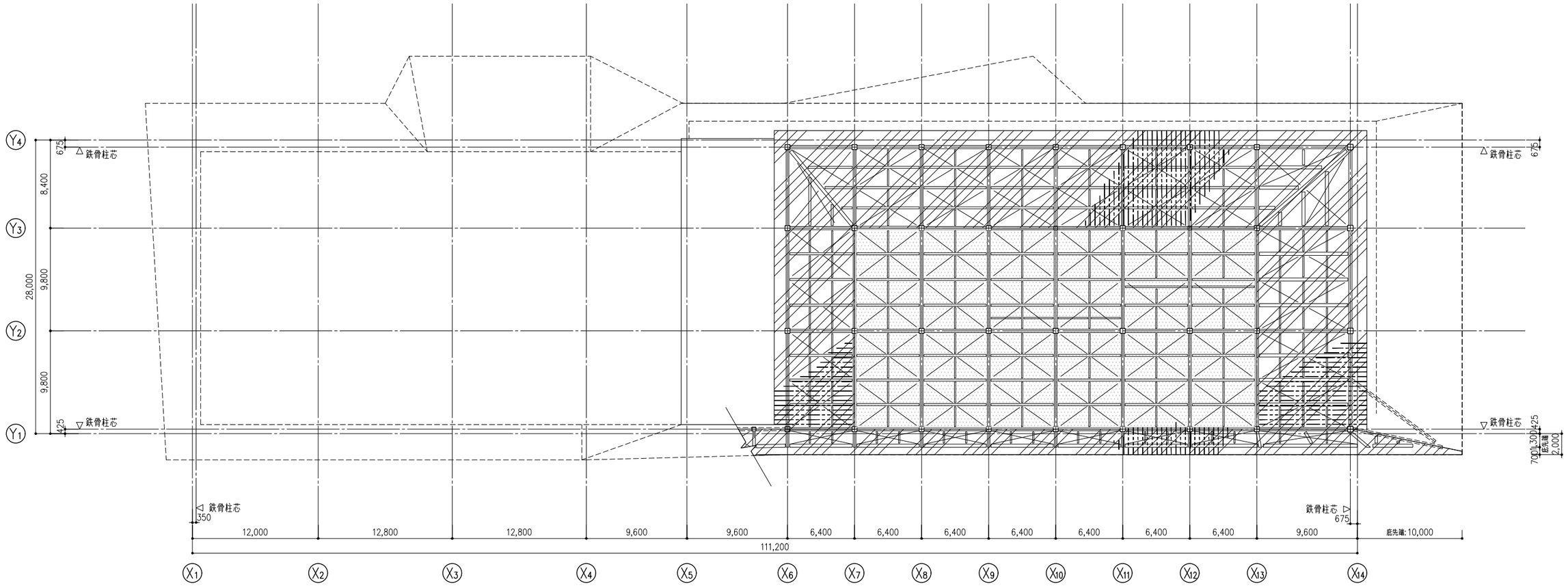
3階伏図(見下げ図) S=1:400

凡 例

- 在来RCスラブ
- 合成デッキ
- フラット デッキ
- ルーフデッキ
- 野地板
- ハニカムパネル

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 3階スラブ区分図	図面番号 S-108 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400 設計年月日 2024.**.**

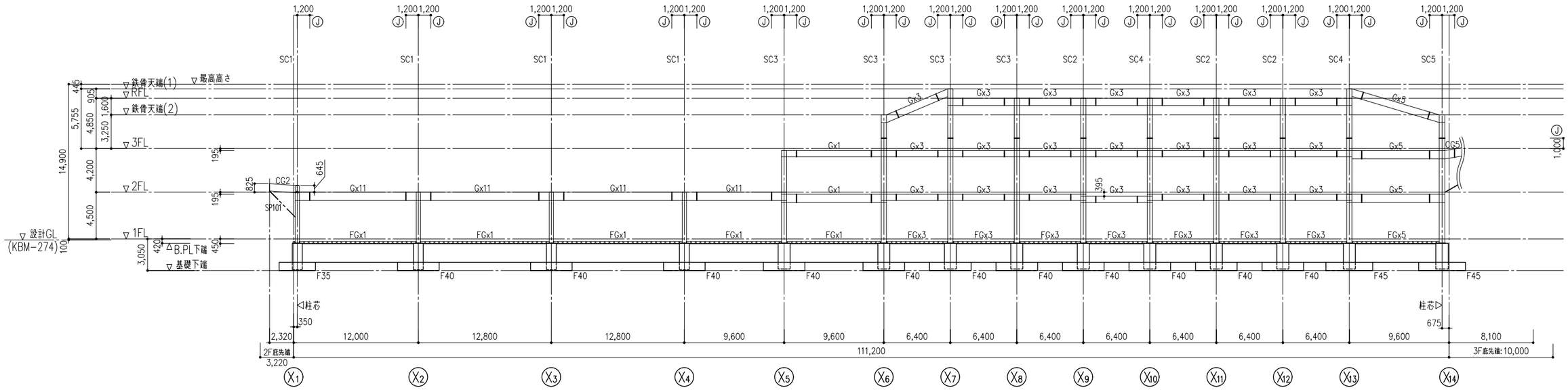


R階伏図(見下げ図) S=1:400

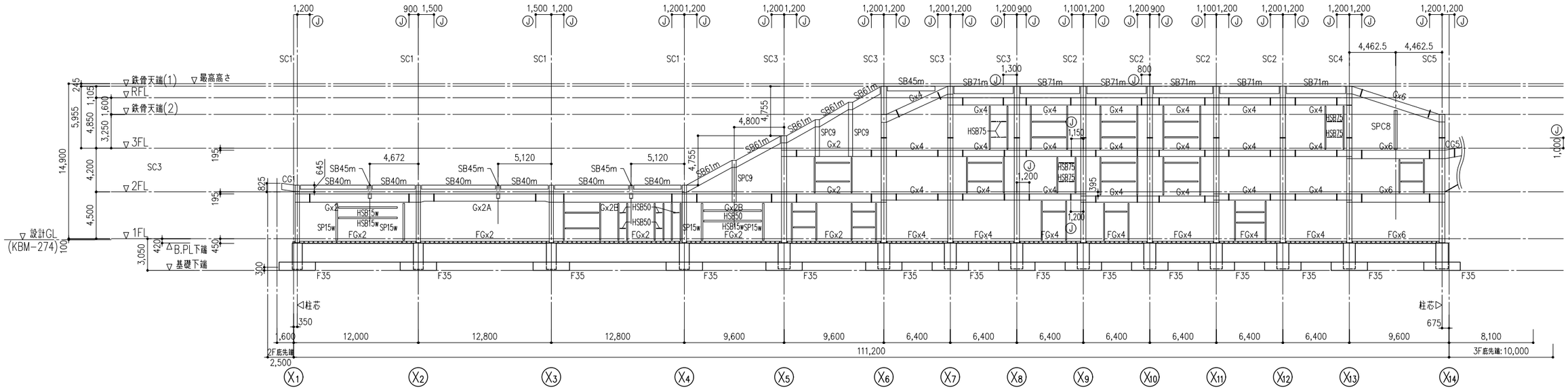
凡 例

- 在来RCスラブ
- 合成デッキ
- フラット デッキ
- ルーフデッキ
- 野地板
- ハニカムパネル

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 R階スラブ区分図 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	設計者に無断で複製を禁ず 図面番号 S-109 設計年月日 2024.**.**



Y2通り軸組図　S=1:400



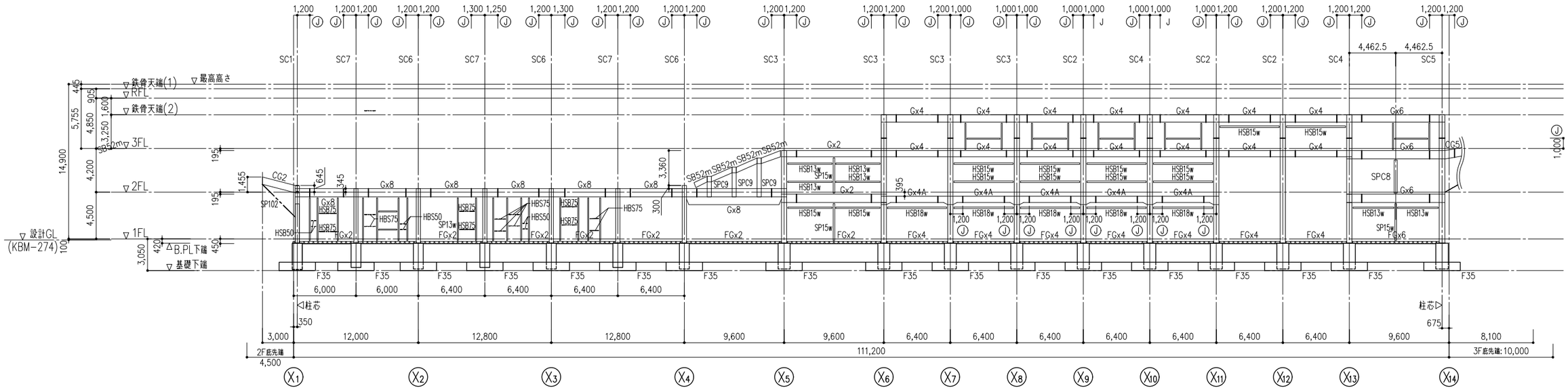
Y1通り軸組図　S=1:400

共 通 事 項

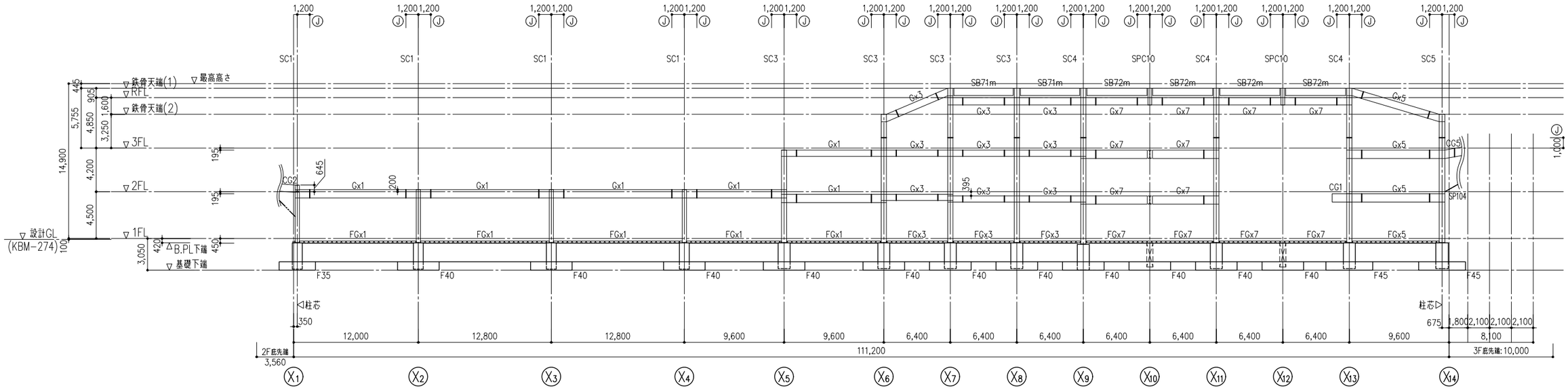
特記なき限り下記による。

1. 設計GL=KBM−274
2. 1FL=設計GL+100
3. 間柱符号は SP10w とする。
4. 耐風梁符号は HSB10w とする。
5. ------ は HSB50 を示す。
6. ———— は HSB75 を示す。
7. Ⓙ は 鉄骨ジョイント位置 を示す。
8. ▨ は 増打ち範囲 を示す。

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川瑞浮 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 軸組図(1)	設計者に無断で複製を禁ず 図面番号 S-201 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400 設計年月日 2024.**.**



Y4通り軸組図　S=1:400



Y3通り軸組図　S=1:400

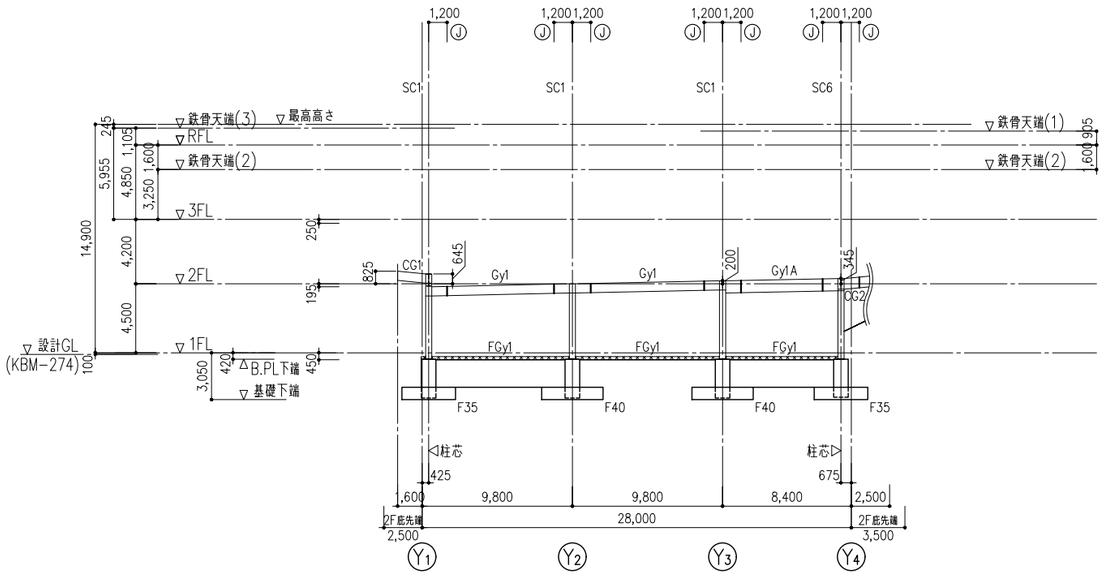
共 通 事 項

特記なき限り下記による。

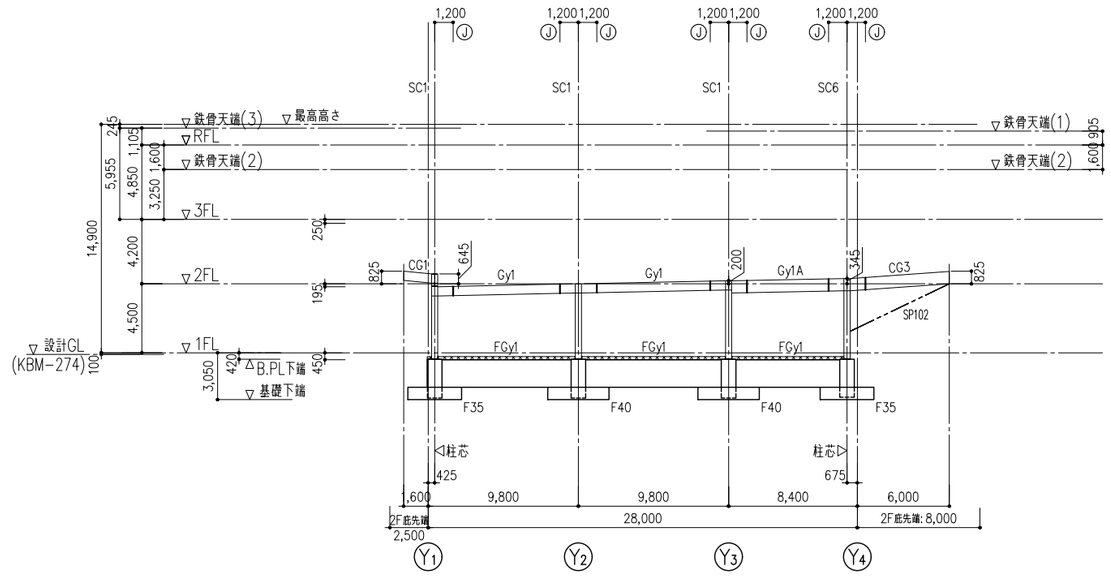
1. 設計GL=KBM−274
2. 1FL=設計GL+100
3. 圏柱符号は SP10w とする。
4. 耐風梁符号は HSB10w とする。
5. ------ は HSB50 を示す。
6. ———— は HSB75 を示す。
7. Ⓙ は 鉄骨ジョイント位置 を示す。
8. ▨ は 増打ち範囲 を示す。

設計者に無断で複製を禁ず

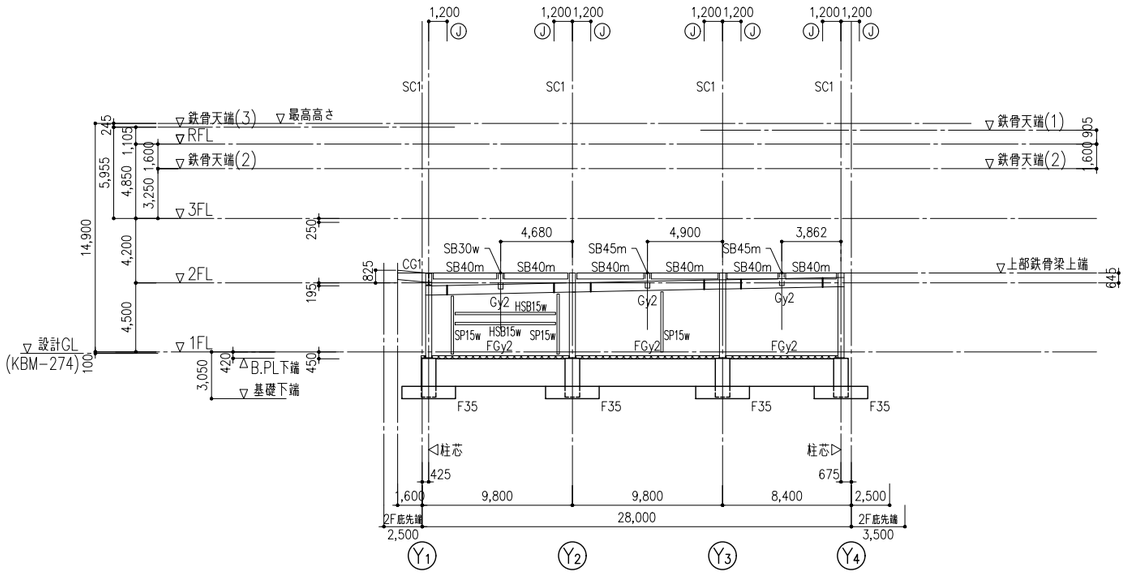
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川瑞淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 軸組図(2)	図面番号 S−202 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400 設計年月日 2024.**.**



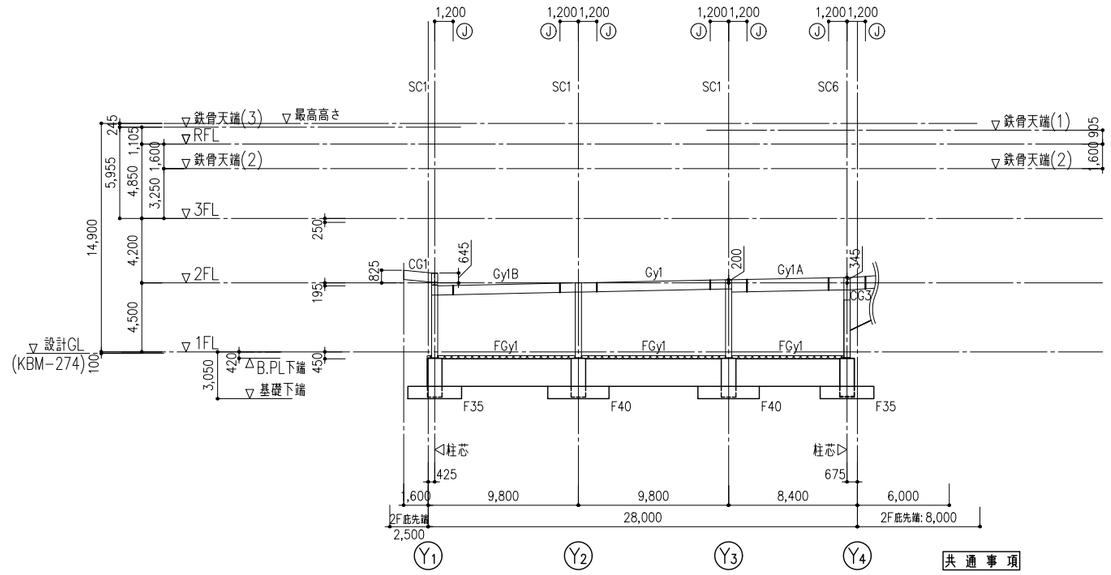
X2通り軸組図　S=1:400



X4通り軸組図　S=1:400



X1通り軸組図　S=1:400



X3通り軸組図　S=1:400

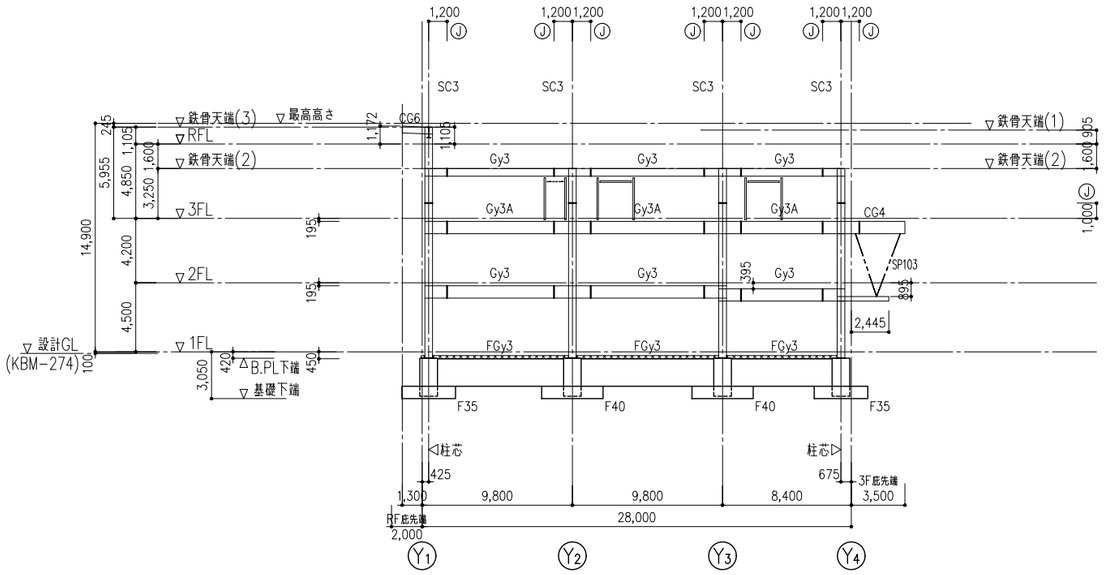
共 通 事 項

特記なき限り下記による。

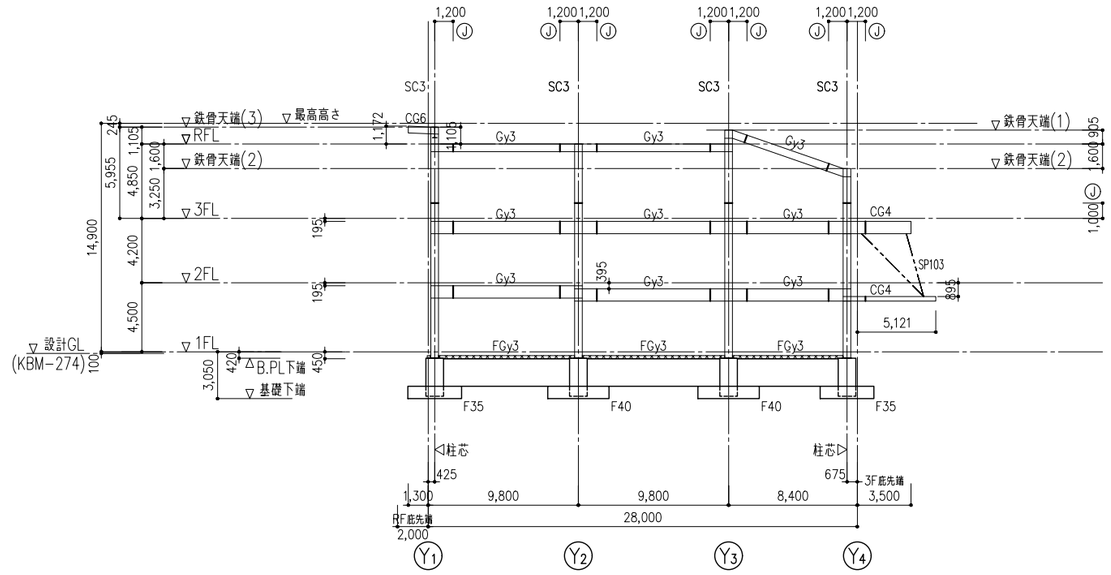
1. 設計GL=KBM−274
2. 1FL=設計GL+100
3. 間柱符号は SP10w とする。
4. 耐風梁符号は HSB10w とする。
5. ------ は HSB50 を示す。
6. ——·——·—— は HSB75 を示す。
7. Ⓙ は 鉄骨ジョイント位置 を示す。
8. ▨ は 増打ち範囲 を示す。

設計者に無断で複製を禁ず

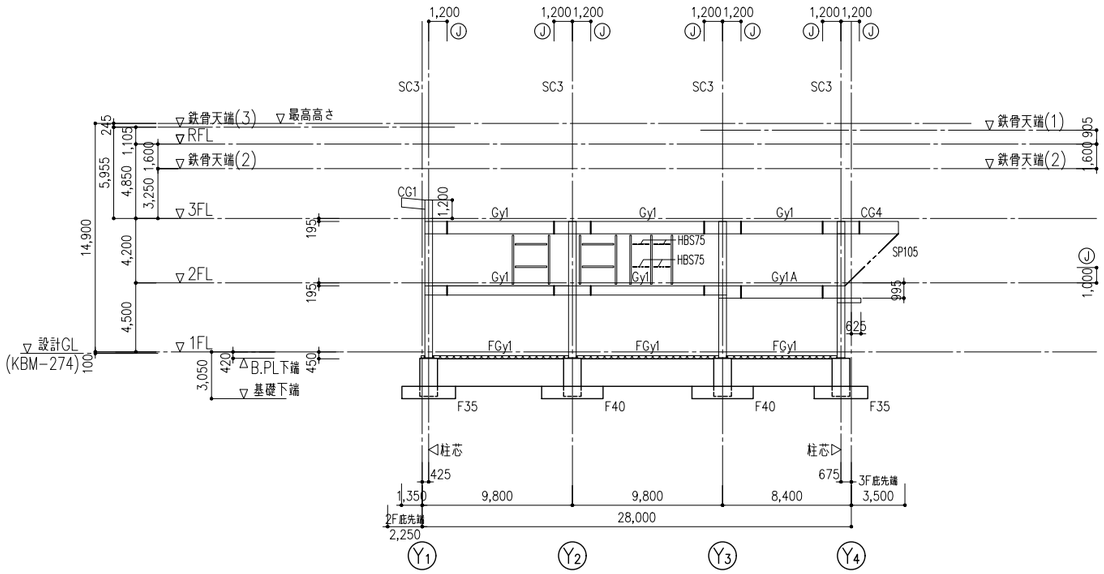
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 瑞 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 軸組図(3) 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	図面番号 S−203 設計年月日 2024.**.**



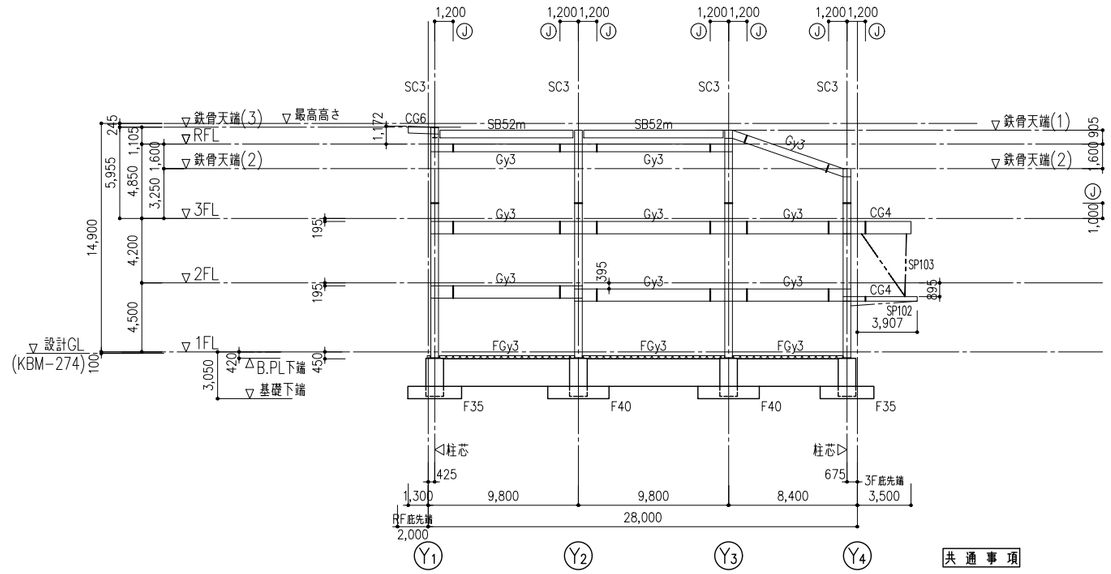
X6通り軸組図　S=1:400



X8通り軸組図　S=1:400



X5通り軸組図　S=1:400



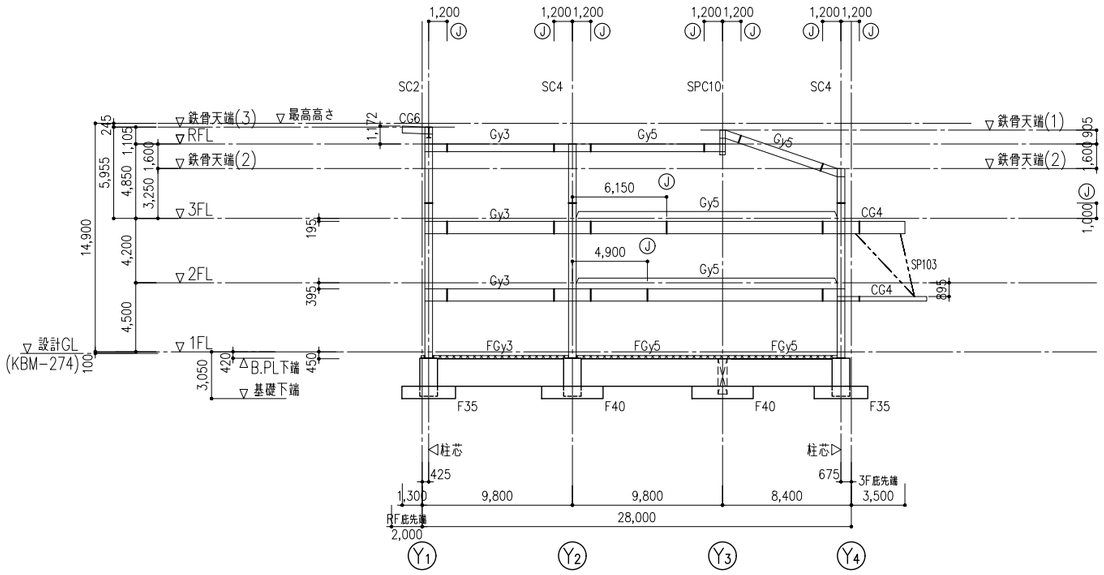
X7通り軸組図　S=1:400

共 通 事 項

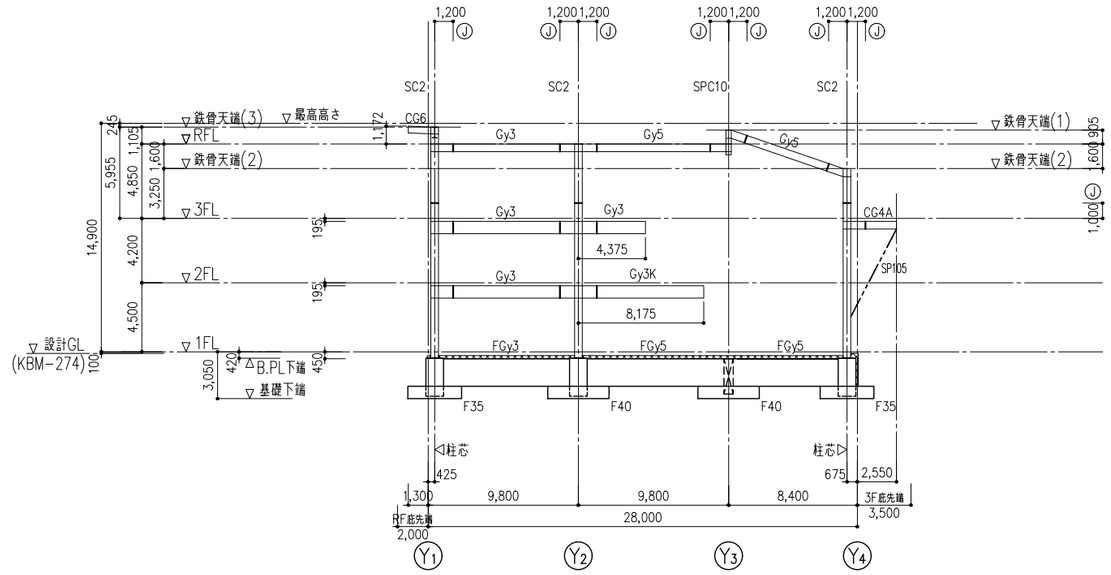
特記なき限り下記による。

1. 設計GL=KBM−274
2. 1FL=設計GL+100
3. 間柱符号は SP10w とする。
4. 耐風梁符号は HSB10w とする。
5. ------ は HSB50 を示す。
6. ——·——·—— は HSB75 を示す。
7. Ⓙ は 鉄骨ジョイント位置 を示す。
8. ▨ は 増打ち範囲 を示す。

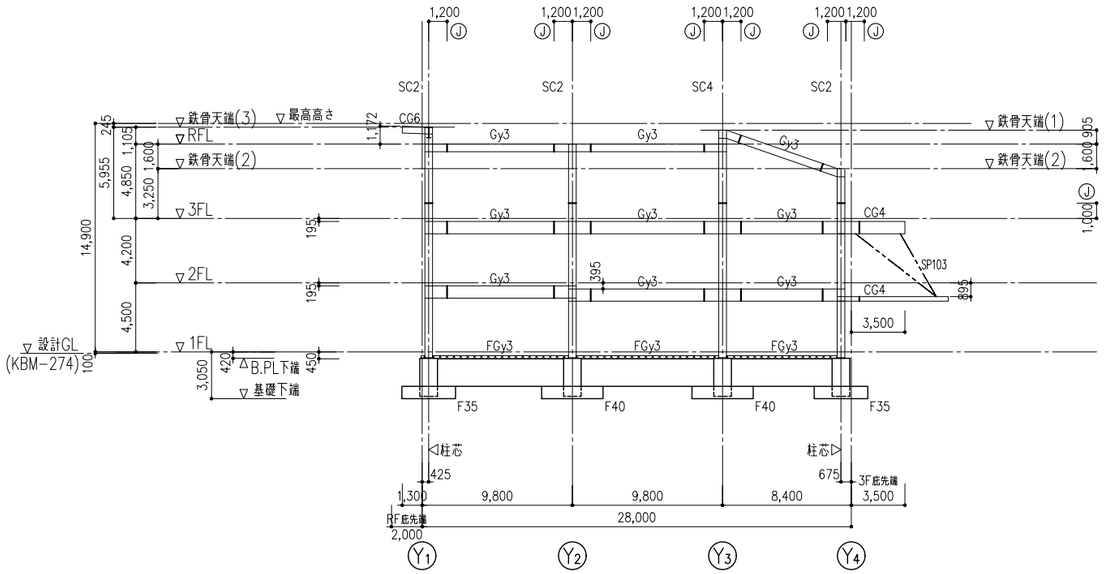
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 瑞 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 軸組図(4) 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	設計者に無断で複製を禁ず 図面番号 S−204 設計年月日 2024.**.**



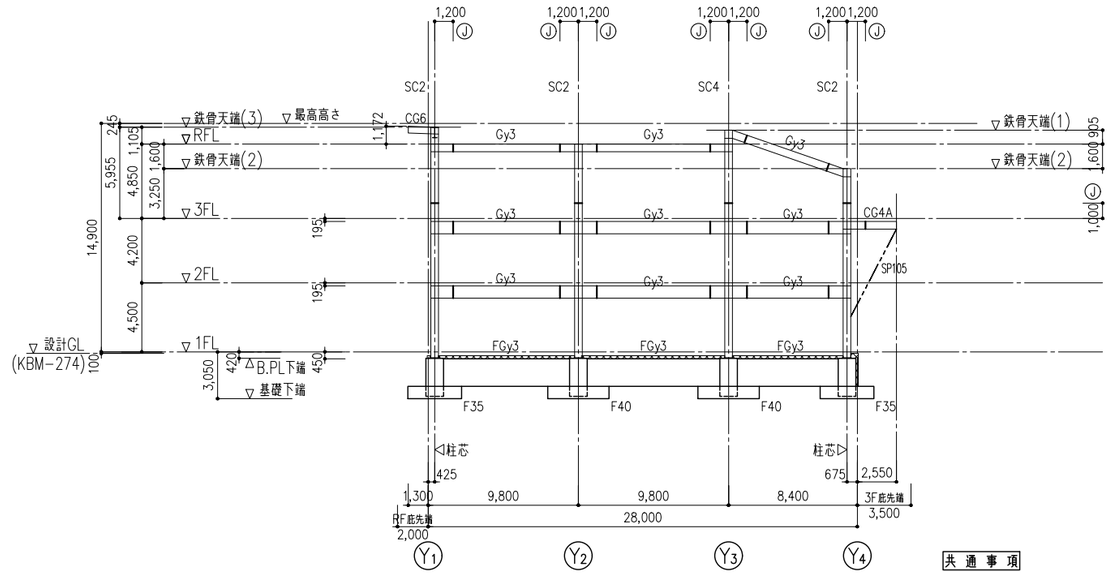
X10通り軸組図　S=1:400



X12通り軸組図　S=1:400



X9通り軸組図　S=1:400



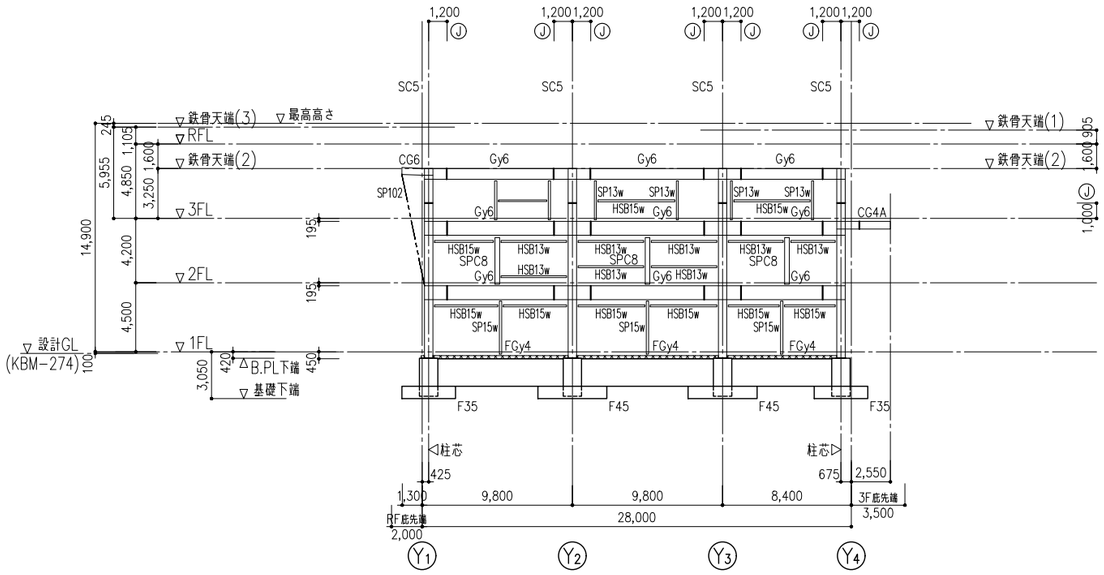
X11通り軸組図　S=1:400

共 通 事 項

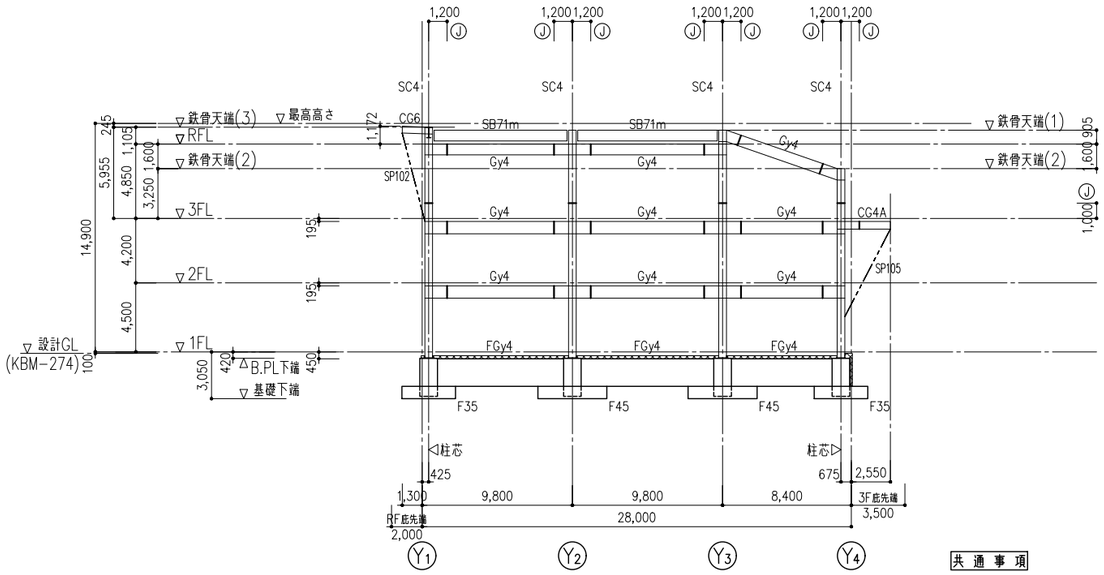
特記なき限り下記による。

1. 設計GL=KBM−274
2. 1FL=設計GL+100
3. 間柱符号は SP10w とする。
4. 耐風梁符号は HSB10w とする。
5. ------ は HSB50 を示す。
6. ——·——·— は HSB75 を示す。
7. Ⓙ は 鉄骨ジョイント位置 を示す。
8. ▨ は 増打ち範囲 を示す。

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 瑞 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 軸組図(5) 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	設計者に無断で複製を禁ず 図面番号 S−205 設計年月日 2024.**.**



X14通り軸組図　S=1:400



X13通り軸組図　S=1:400

共 通 事 項

特記なき限り下記による。

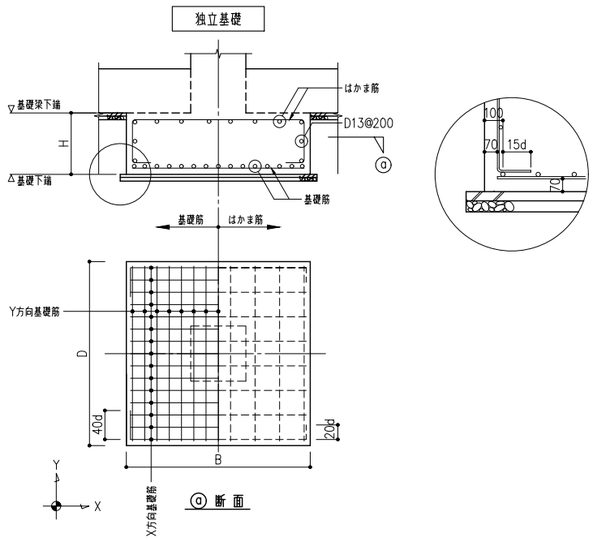
1. 設計GL=KBM−274
2. 1FL=設計GL+100
3. 間柱符号は SP10w とする。
4. 耐風梁符号は HSB10w とする。
5. ------ は HSB50 を示す。
6. ——·—·— は HSB75 を示す。
7. Ⓙ は 鉄骨ジョイント位置 を示す。
8. ▨ は 増打ち範囲 を示す。

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 瑳 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 軸組図(6) 縮尺 A1 S=1:200 A3 S=1:400	図面番号 S−206 設計年月日 2024.**.**

基礎断面リスト（独立基礎）　S=1:50

符号	B	D	H	基礎筋		はかま筋	
				X方向	Y方向	X方向	Y方向
F35	3,500	3,500	800	21－D19	21－D19	11－D13	11－D13
F40	4,000	4,000	800	23－D22	23－D22	12－D13	12－D13
F45	4,500	4,500	800	27－D22	27－D22	14－D13	14－D13



共通事項

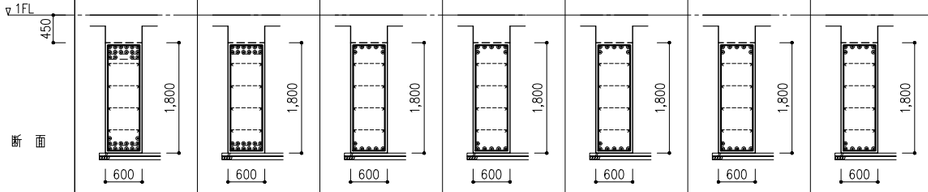
特記なき限り下記による。

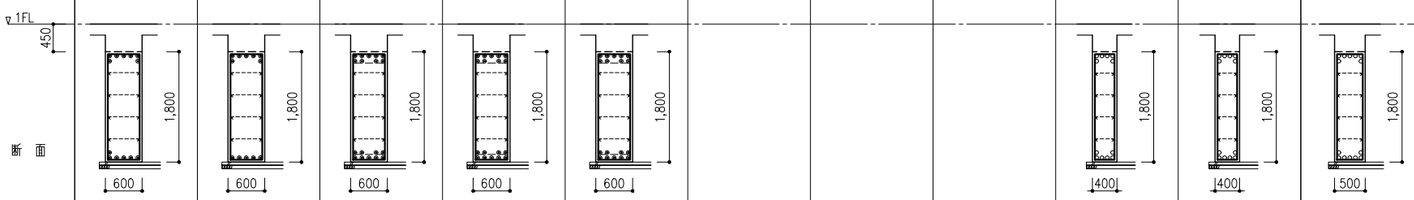
1. 鉄筋材質　D13　SD295
　　D19~D22　SD345

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士（企業体代表） 1級建築士事務所（渡）347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川瑤淳 本図（仕様書）に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図（仕様書）に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 基礎断面表 縮尺 A1　ー A3　ー	図面番号 S-301 設計年月日 2024.**.**

基礎梁断面表　S=1:100

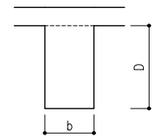
符号	FGx1	FGx2	FGx3	FGx4	FGx5	FGx6	FGx7
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面							
b × D	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800
上端筋	6/6/4-D25	6/6-D25	5/2-D25	5/2-D25	5/2-D25	5/2-D25	5/2-D25
下端筋	6/6/2-D25	6/6-D25	5/1-D25	5/1-D25	5/1-D25	5/1-D25	5/1-D25
STP	2-D13@100	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200
備考							

符号	FGy1	FGy2	FGy3	FGy4	FGy5	FB1	FB2	FB3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面								
b × D	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	600 x 1,800	400 x 1,800	400 x 1,800	500 x 1,800
上端筋	5/2-D25	5/2-D25	5/4-D25	5/4-D25	5/4-D25	4/2-D22	4/2-D22	5/2-D22
下端筋	5/1-D25	5-D25	5/4-D25	5/4-D25	5/4-D25	4/2-D22	4/2-D22	5/2-D22
STP	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200
備考								

共通事項

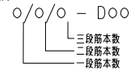
特記なき限り下記による。

1. b × D

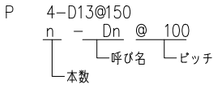


2. 鉄筋材質　D19~D25　SD345
　　D10~D16　SD295

3. 主筋凡例



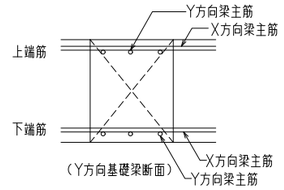
4. STP　4-D13@150



5. 腹筋
　1,200≦ D < 1,500　6-D13 (3 段)
　1,500≦ D < 2,000　8-D13 (4 段)
　2,000≦ D < 2,500　10-D13 (5 段)

6. 幅止め筋　D10@1,000

7. 主筋位置



Y方向梁	上端筋	内側
	下端筋	外側
X方向梁	上端筋	外側
	下端筋	内側

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考

管理建築士(企業体代表)
1級建築士事務所(渡)347号
1級建築士登録181500号
二本柳慶一

構造設計1級建築士
1級建築士事務所2564号
1級建築士登録313991号
構造設計1級建築士8138号
川端淳
本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

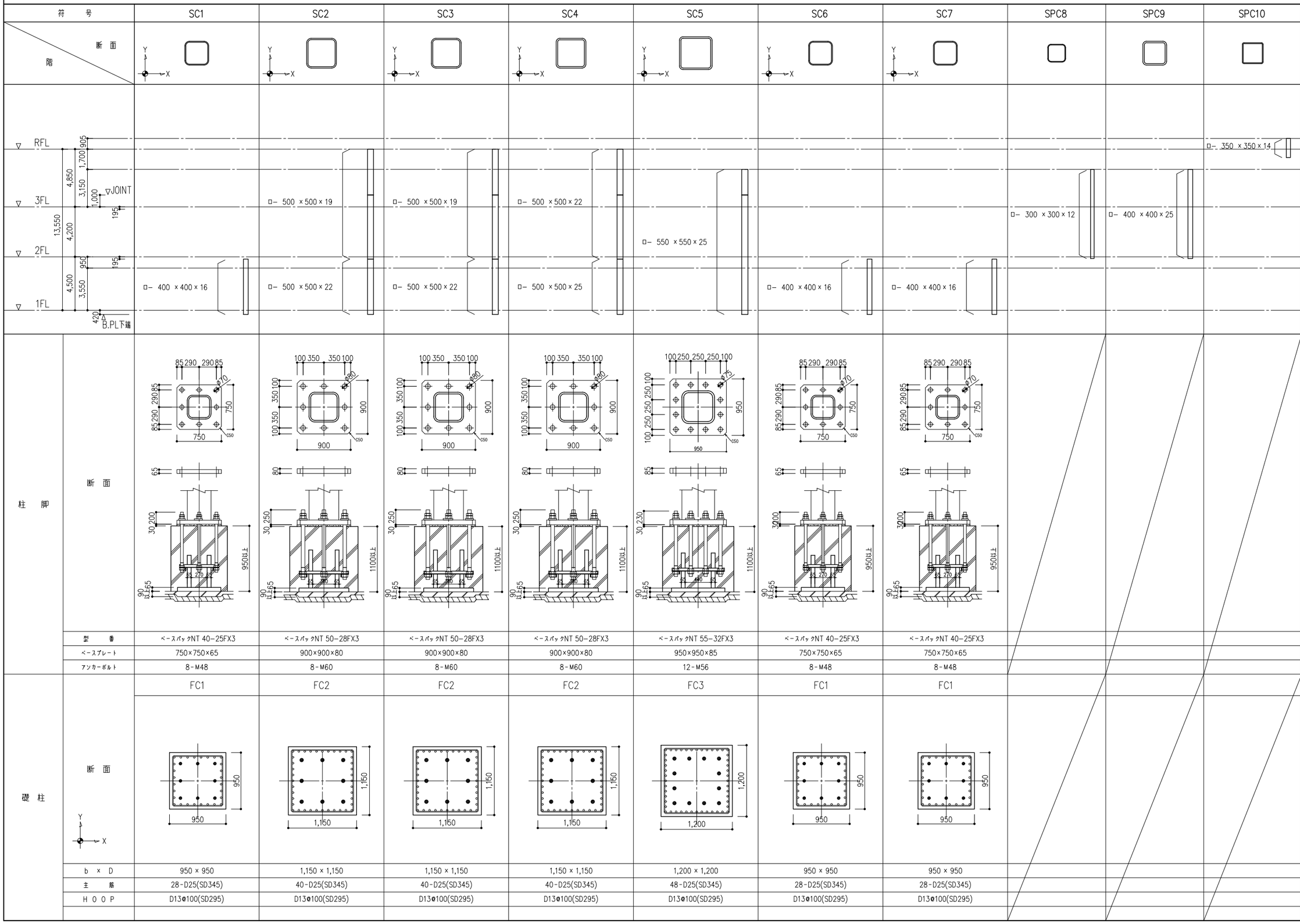
設備設計1級建築士
本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。

設計担当　K.NIHONYANAGI　A.KAWAMOTO
作図担当　Y.SATO

工事名称　八雲町役場庁舎等建設工事実施設計
図面名称　基礎梁断面表
縮尺　A1 S=1:50　A3 S=1:100
図面番号　S-302
設計年月日　2024.**.**

鉄 骨 柱 断 面 表

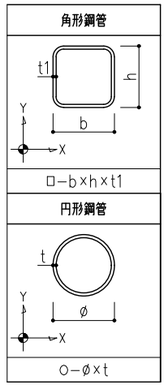
符号	SC1	SC2	SC3	SC4	SC5	SC6	SC7	SPC8	SPC9	SPC10
断面	□− 400 × 400 × 16	□− 500 × 500 × 22	□− 500 × 500 × 22	□− 500 × 500 × 25	□− 550 × 550 × 25	□− 400 × 400 × 16	□− 400 × 400 × 16	□− 300 × 300 × 12	□− 400 × 400 × 25	□− 350 × 350 × 14
型番	ベースパックNT 40−25FX3	ベースパックNT 50−28FX3	ベースパックNT 50−28FX3	ベースパックNT 50−28FX3	ベースパックNT 55−32FX3	ベースパックNT 40−25FX3	ベースパックNT 40−25FX3			
ベースプレート	750×750×65	900×900×80	900×900×80	900×900×80	950×950×85	750×750×65	750×750×65			
アンカーボルト	8-M48	8-M60	8-M60	8-M60	12-M56	8-M48	8-M48			
	FC1	FC2	FC2	FC2	FC3	FC1	FC1			
b × D	950 × 950	1,150 × 1,150	1,150 × 1,150	1,150 × 1,150	1,200 × 1,200	950 × 950	950 × 950			
主筋	28-D25(SD345)	40-D25(SD345)	40-D25(SD345)	40-D25(SD345)	48-D25(SD345)	28-D25(SD345)	28-D25(SD345)			
HOOP	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)			



共通事項

特記なき限り下記による。

1. 鋼材材質
   角形鋼管断面（□）
   無 印： BCR295
2. 柱断面表記凡例



共通事項

特記なき限り下記による。

1. 鉄骨材料
   ・ベースパックの仕様による。

共通事項

特記なき限り下記による。

1. 鉄筋材料
   ・SD295 ：D13,D16
   ・SD345 ：D25,D29

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考

管理建築士（企業体代表）
1級建築士事務所（渡）347号
1級建築士登録181500号
二 本 柳 慶 一

構造設計1級建築士
1級建築士事務所2564号
1級建築士登録313991号
構造設計1級建築士8138号
川 端 淳
本図（仕様書）に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

設備設計1級建築士
本図（仕様書）に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。

設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO
作図担当 Y.SATO

工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計
図面名称 鉄骨柱断面表
縮尺 A1 S=1:30,1:150 A3 S=1:60,1:300
図面番号 S−303
設計年月日 2024.**.**

鉄骨大梁断面表

階	位置＼符号	Gx1		Gx2		Gx2A		Gx2B		Gx3		Gx4		Gx4A		Gx5		Gx6	
		断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手
RFL	全断面									SH − 700 × 300 × 12 × 25	GJB 7030	SH − 700 × 300 × 12 × 25	GJB 7030			SH − 700 × 300 × 14 × 28	GJB 7230	SH − 700 × 300 × 14 × 28	GJB 7230
3FL	全断面	SH − 600 × 300 × 12 × 25	GJB 6030	SH − 600 × 300 × 12 × 25	GJB 6030					SH − 600 × 250 × 12 × 22	GJB 6125	SH − 600 × 250 × 12 × 19	GJB 6025			SH − 800 × 300 × 14 × 25	GJB 8030	SH − 800 × 300 × 14 × 25	GJB 8030
2FL	全断面	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130	端部 BH − 800 × 350 × 16 × 32 <ハンチ長: 400> 中央 SH − 700 × 350 × 16 × 32	GJB 7035	SH − 800 × 300 × 16 × 36	GJB 8330	SH − 600 × 250 × 12 × 25	GJB 6225	同上	同上	端部 BH − 800 × 250 × 12 × 19 <ハンチ長: 400> 中央 SH − 600 × 250 × 12 × 19	GJB 6025	同上	同上	同上	同上

階	位置＼符号	Gx7		Gx8		Gx10		Gx11	
		断面	継手		継手	断面	継手		継手
RFL	全断面	SH − 700 × 300 × 14 × 28	GJB 7230						
3FL	全断面	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130			SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130		
2FL	全断面	同上	同上	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130	同上	同上	SH − 800 × 350 × 19 × 36	GJB 8035

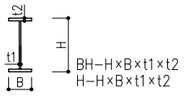
階	位置＼符号	Gy1		Gy1A		Gy1B		Gy2		Gy3		Gy3A		Gy3K		Gy4		Gy5	
		断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手
RFL	全断面									SH − 500 × 250 × 12 × 25	GJB 5025					SH − 700 × 300 × 14 × 25	GJB 7130	SH − 500 × 250 × 12 × 28	GJB 5125
3FL	全断面	SH − 800 × 300 × 14 × 25	GJB 8030							SH − 800 × 300 × 14 × 25	GJB 8030	SH − 800 × 300 × 14 × 32	GJB 8230			SH − 800 × 300 × 14 × 25	GJB 8030	SH − 800 × 300 × 14 × 32	GJB 8230
2FL	全断面	SH − 600 × 250 × 16 × 22	GJB 6325	SH − 800 × 300 × 14 × 25	GJB 8030	SH − 600 × 250 × 16 × 25	GJB 6425	SH − 600 × 250 × 16 × 22	GJB 6325	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130			SH − 800 × 300 × 16 × 36	GJB 8330	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130	同上	同上

階	位置＼符号	Gy6				CG1		CG2		CG3		CG4		CG4A		CG5		CG6	
		断面	継手			断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手	断面	継手		
RFL	全断面	SH − 700 × 300 × 14 × 25	GJB 7130															SH − 450 × 250 × 12 × 22	GJB 4025
3FL	全断面	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130			SH − 600 × 250 × 16 × 25	GJB 6425					SH − 800 × 250 × 16 × 32	GJB 8025	SH − 600 × 250 × 12 × 22	GJB 6125	SH − 800 × 300 × 14 × 28	GJB 8130		
2FL	全断面	SH − 800 × 300 × 14 × 32	GJB 8230			同上	同上	SH − 700 × 250 × 14 × 25	GJB 7025	SH − 800 × 300 × 16 × 36	GJB 8330	H − 300 × 300 × 10 × 15	GJB 3031						

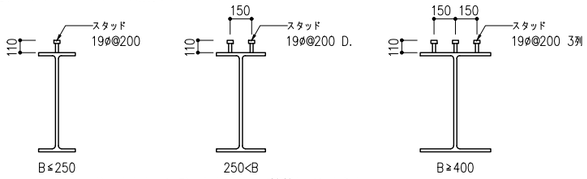
共通事項 特記なき限り下記による。

1. 鋼材材質
   無印　SN400B　(t ≦40)
2. 鉄骨表示
   BH：組立H形断面
   SH：外法一定H形断面
   H　：JISサイズH形断面

・組立H形断面

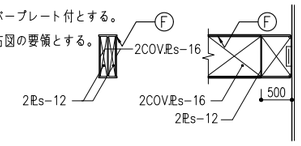


3. スタッドコネクター（頭付きスタッド）

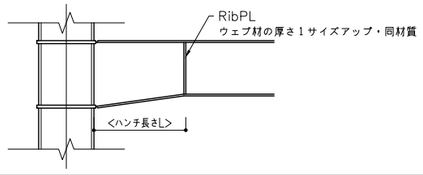


※ スタッドコネクターはデッキを貫通して溶接してはならない。

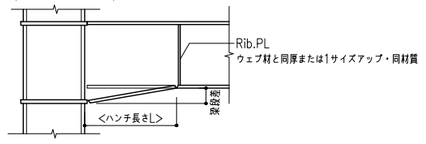
4. 吹き抜け廻りの大梁はカバープレート付とする。
   カバープレート付大梁は右図の要領とする。



5. 鉛直ハンチ要領
   断面リスト内<　>内の数値はハンチ長を示す。



6. 仕口部の150mm以下の段差要領
   仕口部の梁段差が150mm未満の場合は端部をBHとし、ハンチ処理すること。
   (直交方向梁を含む)



二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 鉄骨大梁断面表 縮尺 A1 — A3 —	図面番号 S−304 設計年月日 2024.**.**

設計者に無断で複製を禁ず

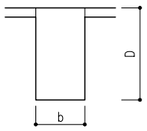
小 梁 断 面 表　　S=1:50

符号	KB1	B3			B4		B5		B5K		B6			B7		B8		
位置	全断面	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端
断面	600 / 300	650 / 400	650 / 400	650 / 400	650 / 400	650 / 400	900 / 400	900 / 400	900 / 500	900 / 500	900 / 400	900 / 400	900 / 400	900 / 400	900 / 400	900 / 400	900 / 400	900 / 400
b × D	300 × 600	400 × 650			400 × 650		400 × 900		500 × 900		400 × 900			400 × 900		400 × 900		
上端筋	3−D19	4−D22	4−D22	4−D22	4/2−D22	4−D22	4/2−D22	4−D22	4−D22	4−D22	4−D22	4−D22	4/3−D22	4/3−D22	4−D22	4−D22	4−D22	4/2−D22
下端筋	3−D19	4−D22	4/2−D22	4−D22	4−D22	4/2−D22	4−D22	4−D22	4−D22	4/2−D22	4−D22	4/2−D22	4−D22	4−D22	4/1−D22	4−D22	4−D22	4−D22
STP	□D10@200	□D13@200			□D13@200		□D13@200		□D13@200		□D13@200			□D13@200		□D13@200		
備考																		

共通事項

特記なき限り下記による。

1. b × D



2. 鉄筋材質　D19~D25　SD345
   D10~D16　SD295
3. STP　□D10@200
4. 腹筋　600≦ D < 900　2−D10（1段）
   900≦ D < 1,200　4−D10（2段）
5. 幅止め筋　D10@1,000

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考

管理建築士（企業体代表）
1級建築士事務所（渡）347号
1級建築士登録181500号
二本柳慶一

構造設計1級建築士
1級建築士事務所2564号
1級建築士登録313991号
構造設計1級建築士8138号
川端淳
本図（仕様書）に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

設備設計1級建築士
本図（仕様書）に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。

設計担当　K.NIHONYANAGI　A.KAWAMOTO
作図担当　Y.SATO

工事名称　八雲町役場庁舎等建設工事実施設計
図面名称　基礎小梁・RC小梁断面表
縮尺　A1　S=1:50　A3　S=1:100
図面番号　S−305
設計年月日　2024.**.**

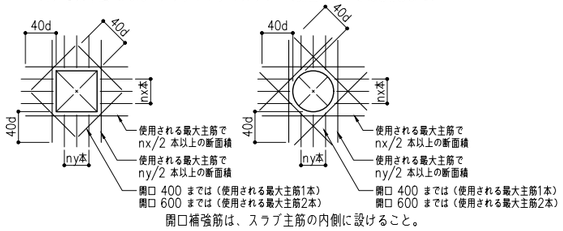
床 版 配 筋 表

符号	版厚	位置	配筋 主筋方向	配筋 配力筋方向	デッキタイプ	備考
DS1	山上 90 デッキ高 75	上端筋	D10@200	D10@200	合成デッキ	スーパーEデッキ EZ75 t=1.2
		下端筋	同上	同上		
DS2	165	上端筋	D10,D13@200	D10,D13@200	フラットデッキ	
		下端筋	同上	同上		
DS3	165	上端筋	D13@200	D13@200	フラットデッキ	
		下端筋	同上	同上		
DS4	デッキ高 75				ルーフデッキ	スーパーEデッキ EZ75 t=1.2
S0	150	上端筋	D13@150 S.	D10@150.S	土間スラブ	
		下端筋				
S18	180	上端筋	D13@200	D13@200		
		下端筋	D13@200	D13@200		
S30	300	上端筋	D13@150	D13@150		
		下端筋	D13@150	D13@150		
CS25	250	上端筋	D16@200	D10@200		
		下端筋	D13@200	D10@200		
CS35	350	上端筋	D16@200	D10@200		
		下端筋	D13@200	D10@200		

共通事項

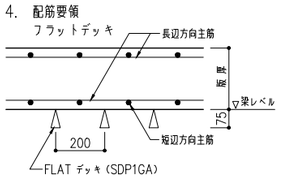
特記なき限り下記による。

1. 表中の D. はダブル配筋を示し、D.C. はダブルクロス配筋、S.はシングル配筋を示す。
2. 床版の型枠
   RC造　　：在来工法
   S造部分　：デッキプレート
3. 床スラブ開口補強
   本要領は鉄骨造の柱とブレースまわりにも適用する。
   (1) 在来工法 および フラットデッキスラブ （開口の大きさは600まで）



開口補強筋は、スラブ主筋の内側に設けること。

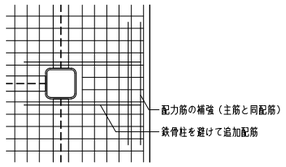
4. 配筋要領



5. デッキプレートの板厚

フラットデッキ	＜L ≦ 2.4	t= 0.8
	2.4 ＜L ≦ 2.8	t= 1.0
	2.8 ＜L ≦ 2.9	t= 1.2
	2.9 ＜L ≦ 3.1	t= 1.4
	3.1 ＜L ≦ 3.2	t= 1.6（支保工併用）

6. 片持スラブで出隅部分となる所は、いずれの方向も主筋方向とする。
7. 鉄骨柱と片持ちスラブが干渉する場合、定着できないスラブ筋は鉄骨を避けた位置に配筋し、
   配力筋は主筋方向と同じ配筋を行う。



設計者に無断で複製を禁ず

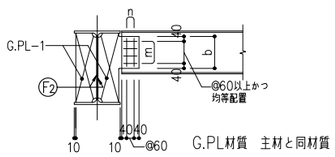
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考	管理建築士（企業体代表）	構造設計1級建築士	設備設計1級建築士	設計担当	工事名称	図面番号
	1級建築士事務所（渡）347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO	八雲町役場庁舎等建設工事実施設計	S-306
				作図担当 Y.SATO	図面名称 床スラブ断面表 / 縮尺 A1 — A3 —	設計年月日 2024.**.**

<小梁> 鉄骨部材表・継手表（1）

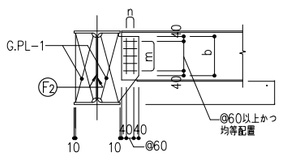
符号	主材 断面	主材 材質	ピン接合（1面せん断） ウェブ継手 HTB	m x n	G.PL−t×b	方杖補剛[D<300] ピン接合（1面せん断） ウェブ継手 HTB	m x n	G.PL−t×b	ピン接合（2面せん断） ウェブ継手 HTB（全本数）	m x n	2SPL−t×b×L	剛接合 フランジ継手 HTB（全本数）	m x n	S.PL−1 t x b1 x L	S.PL−2 t x b2	ウェブ継手 HTB（全本数）	m x n	S.PL−3 t x b x L	備考
SB25s	H− 250×125×6×9	SS400	2−M20	2×1	PL−9×180	—	—	——	—	—	——	24−M16	3×2	PL−12×125×410	2PL s−−×−	8−M16	2×2	2PL s−6×170×290	
SB30s	H− 300×150×6.5×9	SS400	3−M20	3×1	PL−9×200	—	—	——	—	—	——	16−M16	2×2	PL−9×150×290	2PL s−9×60	6−M16	3×1	2PL s−6×200×170	
SB35s	H− 350×175×7×11	SS400	3−M20	3×1	PL−9×250	—	—	——	—	—	——	16−M20	2×2	PL−9×175×290	2PL s−9×70	6−M20	3×1	2PL s−6×260×170	
SB40s	H− 400×200×8×13	SS400	4−M20	4×1	PL−9×300	—	—	——	—	—	——	24−M20	3×2	PL−9×200×410	2PL s−9×80	8−M20	4×1	2PL s−9×260×170	
SB45s	H− 450×200×9×14	SS400	4−M20	4×1	PL−12×350	8−M20	4×2	PL−12×350	—	—	——	24−M20	3×2	PL−12×200×410	2PL s−12×80	10−M20	5×1	2PL s−9×320×170	
SB50s	H− 500×200×10×16	SS400	5−M20	5×1	PL−12×400	10−M20	5×2	PL−12×400	—	—	——	24−M20	3×2	PL−12×200×410	2PL s−12×80	10−M20	5×1	2PL s−9×320×170	
SB60s	H− 600×200×11×17	SS400	6−M20	6×1	PL−12×500	12−M20	6×2	PL−12×500	—	—	——	24−M20	3×2	PL−12×200×410	2PL s−12×80	16−M20	4×2	2PL s−9×440×290	
SB30m	H− 294×200×8×12	SS400	3−M20	3×1	PL−12×200	—	—	——	—	—	——	24−M20	3×2	PL−9×200×410	2PL s−9×80	6−M20	3×1	2PL s−9×200×170	
SB35m	H− 340×250×9×14	SS400	6−M20	3×2	PL−12×260	—	—	——	—	—	——	32−M20	4×2	PL−12×250×530	2PL s−12×100	12−M20	3×2	2PL s−9×200×290	
SB40m	H− 390×300×10×16	SS400	5−M20	5×1	PL−16×320	—	—	——	—	—	——	32−M20	4×2	PL−12×300×440	2PL s−12×110	8−M20	4×1	2PL s−9×260×170	
SB45m	H− 440×300×11×18	SS400	5−M20	5×1	PL−16×320	—	—	——	—	—	——	32−M20	4×2	PL−12×300×440	2PL s−12×110	10−M20	5×1	2PL s−9×320×170	
SB50m	H− 488×300×11×18	SS400	6−M20	6×1	PL−12×400	—	—	——	10−M22	5×1	2SPL−9×320×170	32−M20	4×2	PL−12×300×440	2PL s−12×110	16−M20	4×2	2PL s−12×350×290	
SB51m	SH− 500×300×12×25	SS400	6−M20	6×1	PL−16×400	—	—	——	—	—	——								
SB52m	SH− 500×250×12×22	SS400	6−M20	6×1	PL−16×400	—	—	——	—	—	——	48−M20	6×2	PL−16×250×770	2PL s−16×100	20−M20	5×2	2PL s−12×320×290	
SB60m	H− 588×300×12×20	SS400	6−M20	6×1	PL−16×400	—	—	——	12−M22	6×1	2SPL−9×430×170	40−M20	5×2	PL−12×300×530	2PL s−16×110	16−M20	4×2	2PL s−9×440×290	
SB61m	SH− 600×300×12×25	SS400	6−M20	6×1	PL−16×500	—	—	——	—	—	——								
SB70m	H− 700×300×13×24	SS400	7−M20	7×1	PL−16×460	—	—	——	14−M22	7×1	2SPL−12×530×170	48−M20	6×2	PL−19×300×620	2PL s−19×110	18−M20	9×1	2PL s−9×560×170	
SB71m	SH− 700×300×12×25	SS400	7−M20	7×1	PL−16×460	—	—	——	—	—	——								
SB72m	SH− 700×300×14×28	SS400	7−M20	7×1	PL−16×460	—	—	——	—	—	——								
SB80m	SH− 800×300×16×25	SS400	12−M22	6×2	PL−19×400	—	—	——	16−M22	8×1	2SPL−12×640×170	48−M20	6×2	PL−19×300×620	2PL s−19×110	28−M20	7×2	2PL s−12×620×290	
SCB45m	H− 440×300×11×18	SS400	—	—	——	—	—	——	—	—	——	32−M20	4×2	PL−12×300×440	2PL s−12×110	10−M20	5×1	2PL s−9×320×170	
SCB50m	BH−500~200×200×12×25	SN490B	—	—	——	—	—	——	—	—	——								
SCB60m	SH− 600×250×16×25	SS400	6−M20	6×1	PL−19×500	—	—	——	—	—	——	48−M20	6×2	PL−16×250×770	2PL s−19×100	30−M20	5×3	2PL s−12×440×410	端部ハンチ
SCB70m	SH− 700×300×14×25	SS400	7−M20	7×1	PL−16×460	—	—	——	—	—	——	48−M20	6×2	PL−16×250×770	2PL s−19×100	36−M20	9×2	2PL s−9×560×290	
SCB80m	SH− 800×300×16×36	SS400	12−M22	6×2	PL−19×400	—	—	——	—	—	——	72−M20	9×2	PL−25×300×890	2PL s−25×110	42−M20	7×3	2PL s−12×620×410	
HSB10w	H− 100×100×6×8	SS400	2−M16	1×2	PL−9×50	—	—	——	—	—	——								横使いとする
SB13w HSB13w	H− 125×125×6.5×9	SS400	2−M16	1×2	PL−9×80	—	—	——	—	—	——	16−M16	2×2	PL−12×125×410	2PL s−−×−	4−M16	1×2	2PL s−6×80×290	H付きは横使いとする
SB15w HSB15w	H− 150×150×7×10	SS400	2−M20	1×2	PL−12×80	—	—	——	—	—	——	16−M20	2×2	PL−9×150×290	2PL s−9×60	4−M20	1×2	2PL s−9×80×290	H付きは横使いとする
SB25w	H− 250×250×9×14	SS400	4−M20	2×2	PL−12×140	—	—	——	8−M20	2×2	2SPL−9×140×290	32−M20	4×2	PL−12×250×530	2PL s−12×100	8−M20	2×2	2PL s−9×140×290	
SB30w	H− 300×300×10×15	SS400	3−M20	3×1	PL−12×200	—	—	——	12−M20	3×2	2SPL−9×200×290	32−M20	4×2	PL−9×300×440	2PL s−12×110	8−M20	2×2	2PL s−9×200×290	溶融亜鉛メッキ部はF8T
SB40w	H− 400×400×13×21	SS400	4−M20	4×1	PL−16×260							64−M20	4×4	PL−12×400×530	2PL s−16×170	16−M20	4×2	2PL s−12×260×290	
HSB50	L− 50×50×6	SS400	2−M16	1×2	PL−9×80														
HSB75	L− 75×75×12	SS400	2−M16	1×2	PL−12×80														

ピン接合継手 （1面せん断タイプ）



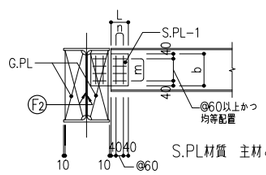
G.PL材質 主材と同材質

ピン接合継手 （1面せん断タイプ）方杖補剛[D<300]



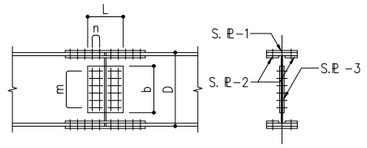
G.PL材質 主材と同材質

ピン接合継手 （2面せん断タイプ）



S.PL材質 主材と同材質

剛接剛継手 （ブラケットタイプ）



S.PL材質 主材と同材質

共通事項

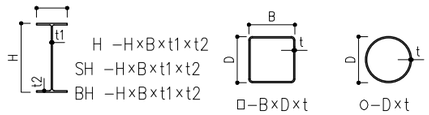
特記なき限り下記による。

1. 鉄骨材質 SS400 （ただし、剛接合部 SN400B）
2. 高力ボルト（HTB）（S10T,F10T）
3. スタッドコネクター（頭付きスタッド）

	B	a	b	本数・ピッチ	備考
小梁	B≤250	—	—	1−19φ@200	H=110
	250<B≤400	100	50~75	2−19φ@200	H=110
	400<B	100	50~75	3−19φ@200	H=110

4. 鉄骨表示

H: JISサイズ H形鋼 SH: 外法一定H形鋼 □: 角形鋼管 ○: 円形鋼管



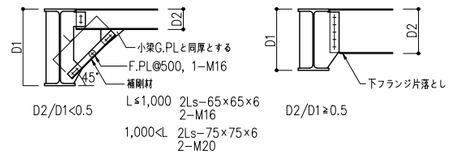
5. 小梁・間柱符号凡例

SB60M
- 寸法系列[s: 細幅系列 m: 中間幅系列 w: 広幅系列 B: 角形鋼管 P: 円形鋼管 C: 溝形鋼]
- 梁成（H）を近似した数値
- 部材[SB: 鉄骨小梁,SP: 鉄骨間柱]

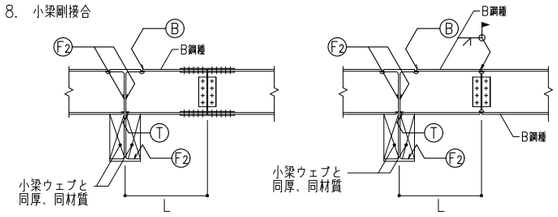
6. 屋外露出する鉄骨には溶融亜鉛めっきを施し、

当該部ボルトは、溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用すること。

7. 方杖補剛材要領

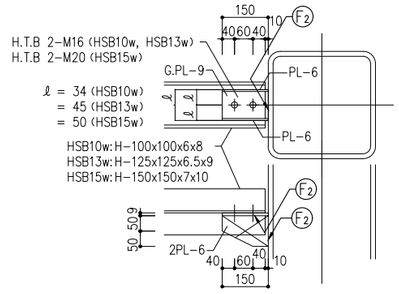


8. 小梁剛接合



剛接合部位置(L)は、梁芯から1000mmとする。

9. 耐風梁 HSB10w、HSB13w、HSB15w（横使い）の接合部詳細図



10. 外壁ALC受け部材

貼り芯から外壁芯まで675mmの箇所は [−125×65×6×8 @600

それ以下の箇所は [−100×50×5×7.5 @600

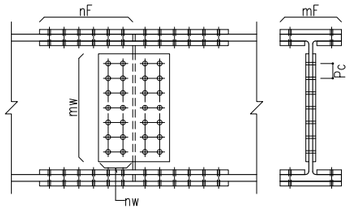
（2、3、R階 該当箇所共通）

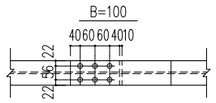
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考	管理建築士（企業体代表）	構造設計1級建築士	設備設計1級建築士	設計担当	工事名称	図面番号
	1級建築士事務所（渡）347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO	八雲町役場庁舎等建設工事実施設計	S−307
				作図担当 Y.SATO	図面名称 鉄骨二次部材断面表 / 縮尺 A1 — A3 —	設計年月日 2024.**.**

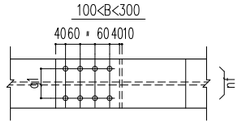
設計者に無断で複製を禁ず

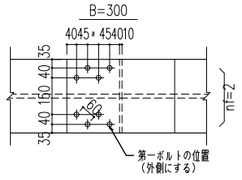
鉄骨継手表

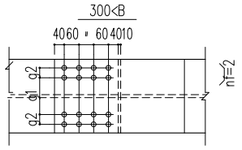




B	g1	g2
100	56	—
125	75	—
150	90	—
175	105	—
200	120	—
250	150	—
300	150	40
350	140	70
400	140	90







大梁継手リスト 400級 F10T

符号	断面	径 D	フランジ ボルト nF×mF	フランジ 外添板 厚×幅×長さ mm mm mm	フランジ 内添板 厚×幅×長さ mm mm mm	ウェブ ボルト mw×nw	ウェブ ボルト Pc mm	ウェブ 添板寸法 厚×幅×長さ mm mm mm
GJB 3030	H-300×300×10×15	M20	4×2	9×300×440	12×110×440	2×2	120	9×200×290
GJB 4025	SH-450×250×12×22	M20	5×2	16×250×650	16×100×650	3×3	120	9×320×410
GJB 5025	SH-500×250×12×25	M20	5×2	16×250×650	19×100×650	4×2	90	12×350×290
GJB 5125	SH-500×250×12×28	M20	6×2	19×250×770	19×100×770	4×2	90	12×350×290
GJB 5030	SH-500×300×16×32	M20	7×2	22×300×710	22×110×710	5×2	60	16×320×290
GJB 6025	SH-600×250×12×19	M20	5×2	12×250×650	16×100×650	4×3	120	9×440×290
GJB 6125	SH-600×250×12×22	M20	5×2	16×250×650	16×100×650	4×3	120	9×440×290
GJB 6225	SH-600×250×12×25	M20	5×2	16×250×650	19×100×650	4×3	120	9×440×410
GJB 6325	SH-600×250×16×22	M20	5×2	16×250×650	16×100×650	5×3	90	12×440×410
GJB 6425	SH-600×250×16×25	M20	6×2	16×250×770	19×100×770	5×3	90	12×440×410
GJB 6030	SH-600×300×12×25	M20	6×2	19×300×620	19×110×620	4×2	120	9×440×290
GJB 7025	SH-700×250×14×25	M20	6×2	16×250×770	19×100×770	9×2	60	9×560×290
GJB 7030	SH-700×300×12×25	M20	6×2	19×300×620	19×110×620	9×2	60	9×560×290
GJB 7130	SH-700×300×14×25	M20	6×2	19×300×620	19×110×620	9×2	60	9×560×290
GJB 7230	SH-700×300×14×28	M20	7×2	19×300×710	22×110×710	9×2	60	9×560×290
GJB 7035	SH-700×350×16×32	M20	5×4	19×350×650	22×140×650	6×3	90	12×530×410
GJB 8025	SH-800×250×16×32	M20	7×2	22×250×890	22×100×890	7×3	90	12×620×410
GJB 8030	SH-800×300×14×25	M20	7×2	19×300×710	19×110×710	7×3	90	12×620×410
GJB 8130	SH-800×300×14×28	M20	7×2	19×300×710	22×110×710	7×3	90	12×620×410
GJB 8230	SH-800×300×14×32	M20	8×2	22×300×800	22×110×800	6×3	90	12×620×290
GJB 8330	SH-800×300×16×36	M20	9×2	25×300×890	25×110×890	7×3	90	12×620×410
GJB 8035	SH-800×350×19×36	M20	6×4	22×350×770	25×140×770	7×3	90	12×620×410

大梁継手リスト 400級 F8T

符号	断面	径 D	フランジ ボルト nF×mF	フランジ 外添板 厚×幅×長さ mm mm mm	フランジ 内添板 厚×幅×長さ mm mm mm	ウェブ ボルト mw×nw	ウェブ ボルト Pc mm	ウェブ 添板寸法 厚×幅×長さ mm mm mm
GJB 3031	H-300×300×10×15	M20	5×2	9×300×530	12×110×530	2×3	120	9×200×410

鉄骨間柱・筋交い断面表

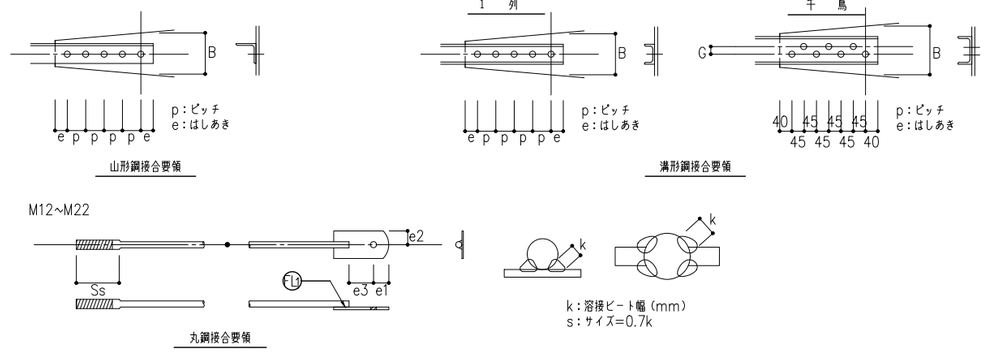
符号	主材	材質	継手	備考
SP101	□-175×175× 9	STKR400	B.PL-16, G.PL-16 F10T HTB 6-M22	
SP102	□-200×200× 9	STKR400	B.PL-16, G.PL-16 F10T HTB 6-M22	
SP103	□-150×150× 9	STKR400	B.PL-16, G.PL-16 F10T HTB 8-M22	
SP104	BH-400×250× 16	SN400B	B.PL-25, G.PL-19 F10T HTB 12-M22	
SP105	□-250×250× 9	STKR400	B.PL-16, G.PL-16 F10T HTB 6-M22	
H1	JISターンバックル筋交い 1-M24	SS400	端部PL-9, G.PL-12 2-M20	
H2	L- 75× 75× 6	SS400	G.PL- 9 F10T HTB 5-M16	
H3	2L- 75× 75× 6	SS400	G.PL- 9 F10T HTB 5-M16	
H4	JISターンバックル筋交い 1-M27	SS400	端部PL-9, G.PL-12 2-M20	
SP10w	H- 100× 100 × 6 × 8	SS400	仕口: G.PL-9 F10T HTB 2-M16 1F柱脚: B.PL-16×150×150 A.BOLT 2-M16(25d)D.N	G.PL 端部RibPL-9付
SP13w	H- 125× 125 ×6.5× 9	SS400	仕口: G.PL-9 F10T HTB 2-M16 1F柱脚: B.PL-16×175×175 A.BOLT 2-M16(25d)D.N	G.PL 端部RibPL-9付
SP15w	H- 150× 150 × 7 ×10	SS400	仕口: G.PL-9 F10T HTB 2-M20 1F柱脚: B.PL-16×200×200 A.BOLT 2-M20(25d)D.N	G.PL 端部RibPL-9付
母屋	C- 100× 50 ×20×3.2	SSC400	G.PL- 6 Rib.PL- 6 中ボルト 2-M16	
母屋	2C- 100× 50 ×20×3.2	SSC400	G.PL- 6 Rib.PL- 6 中ボルト 2-M16	

鉄骨部材表・継手表（3） <ブレース> <吊り材>

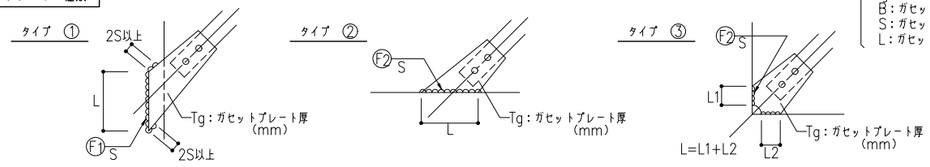
ブレース

符号	梁断面（中央部材）	ボルト 列	ボルト 全本数-径	Ss (mm)	端部プレート プレート	端部プレート e1 (mm)	端部プレート e2 (mm)	端部プレート e3 (mm)	端部プレート Lb (mm)	ガセットプレート Tg (mm)	ガセットプレート B (mm)	ガセットプレート S (mm)	ガセットプレート L (mm) ①	ガセットプレート L (mm) ②	ガセットプレート L (mm) ③	備考
H1	1-M24	1列	2-M20	175	FB- 9 PL- 9	50 50	37.5 38	70 70	85 85	12	90	10	112	76	96	
H2	L- 75x75x6	1列	5-M16	—	—	—	—	—	—	9	95	8	202	117	133	
H3	2L- 75x75x6	1列	5-M20	—	—	—	—	—	—	9	185	8	404	218	234	
H4	1-M27	1列	2-M20	200	FB- 9 PL- 9	50 50	45 45	72 72	90 90	12	90	10	145	93	113	

ボルトピッチ及びはしあき



ガセットプレートの種類

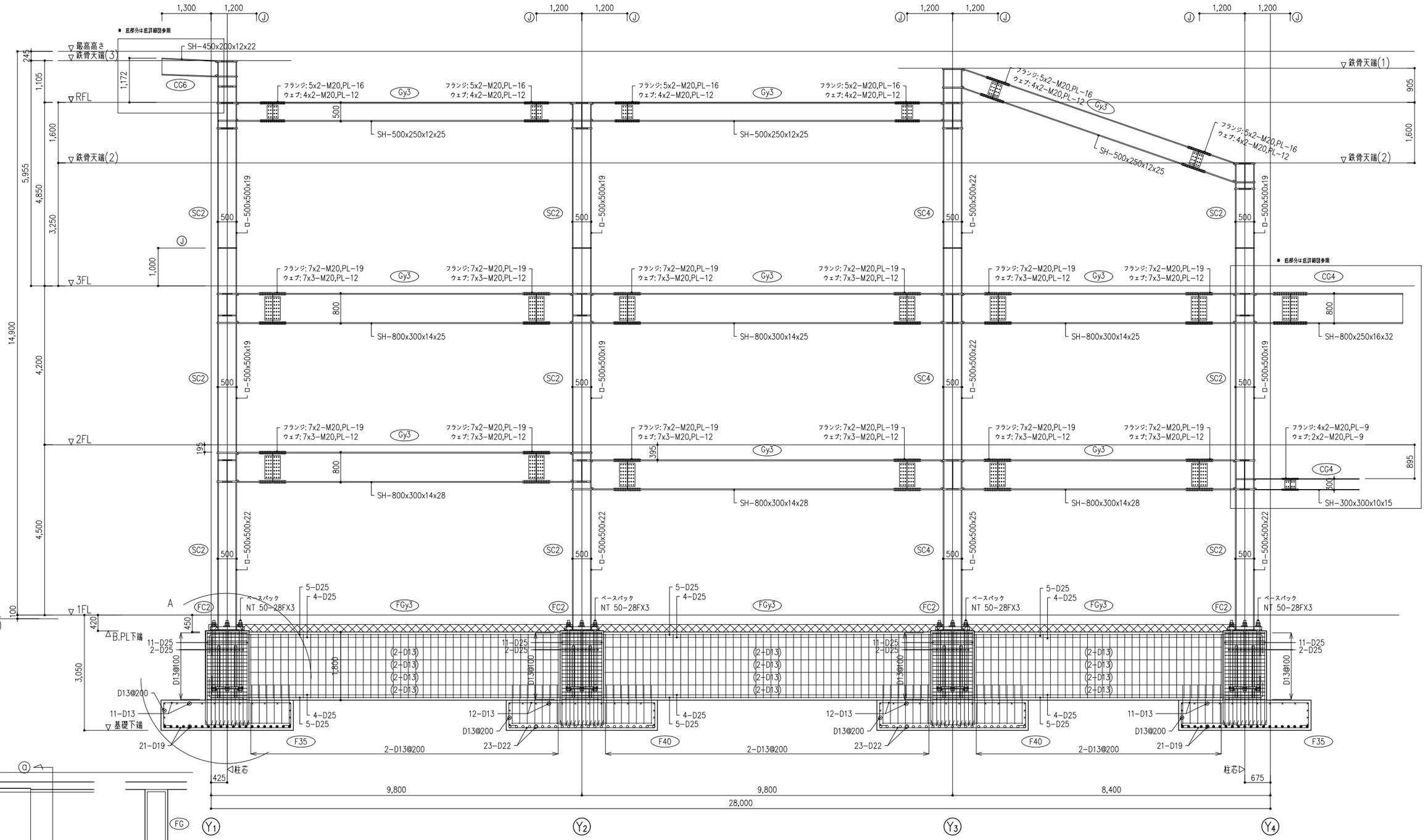


Tg：ガセットプレート厚
B：ガセットプレート必要幅
S：ガセットプレートすみ肉溶接サイズ
L：ガセットプレート最小必要溶接長

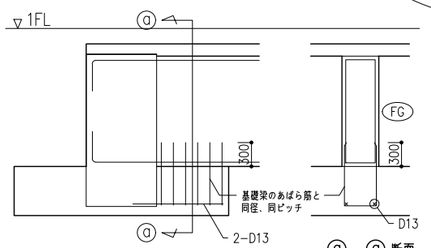
設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考	管理建築士(企業体代表)	構造設計1級建築士	設備設計1級建築士	設計担当	工事名称	図面番号
	1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO	八雲町役場庁舎等建設工事実施設計	S-308
				作図担当 Y.SATO	図面名称 鉄骨大梁継手表、鉄骨間柱・筋交い断面表 / 縮尺 A1 — A3 —	設計年月日 2024.**.**



X9通り架構詳細図　S=1:50



A部 凵字補強筋配筋図　S=1:50

ⓐ－ⓐ 断面

共通事項

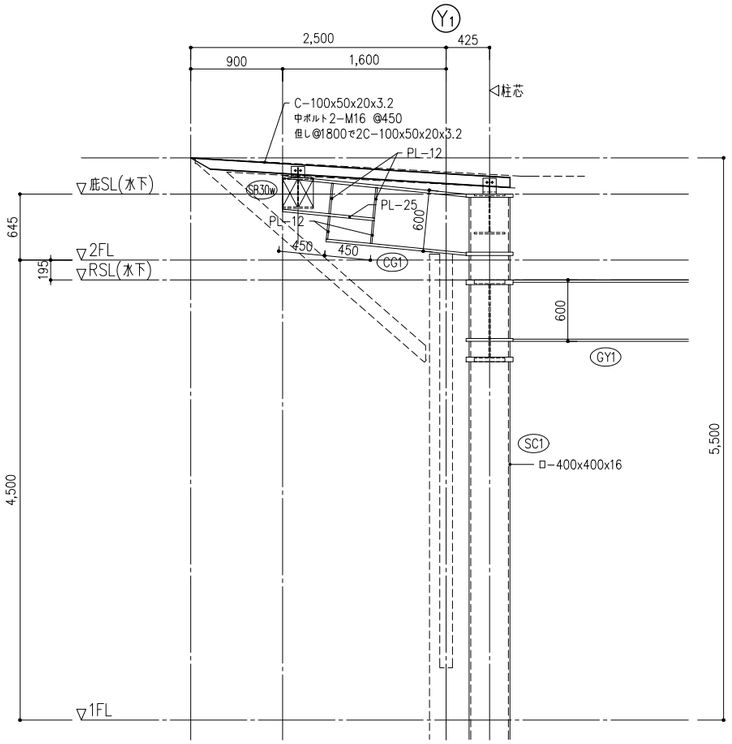
特記なき限り下記による。

1. 材質
   通しダイアフラム: SN490C
   内ダイアフラム　: SN400B

設計者に無断で複製を禁ず

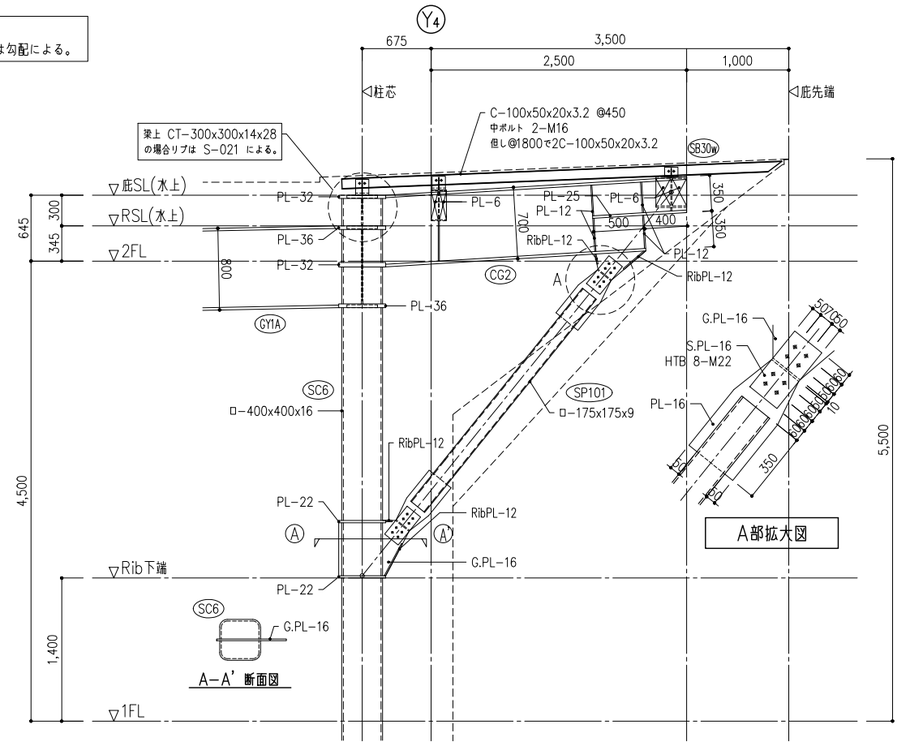
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 X9通り架構詳細図 縮尺 A1 S=1:50 A3 S=1:100	図面番号 S-401 設計年月日 2024.**.**

①断面詳細図

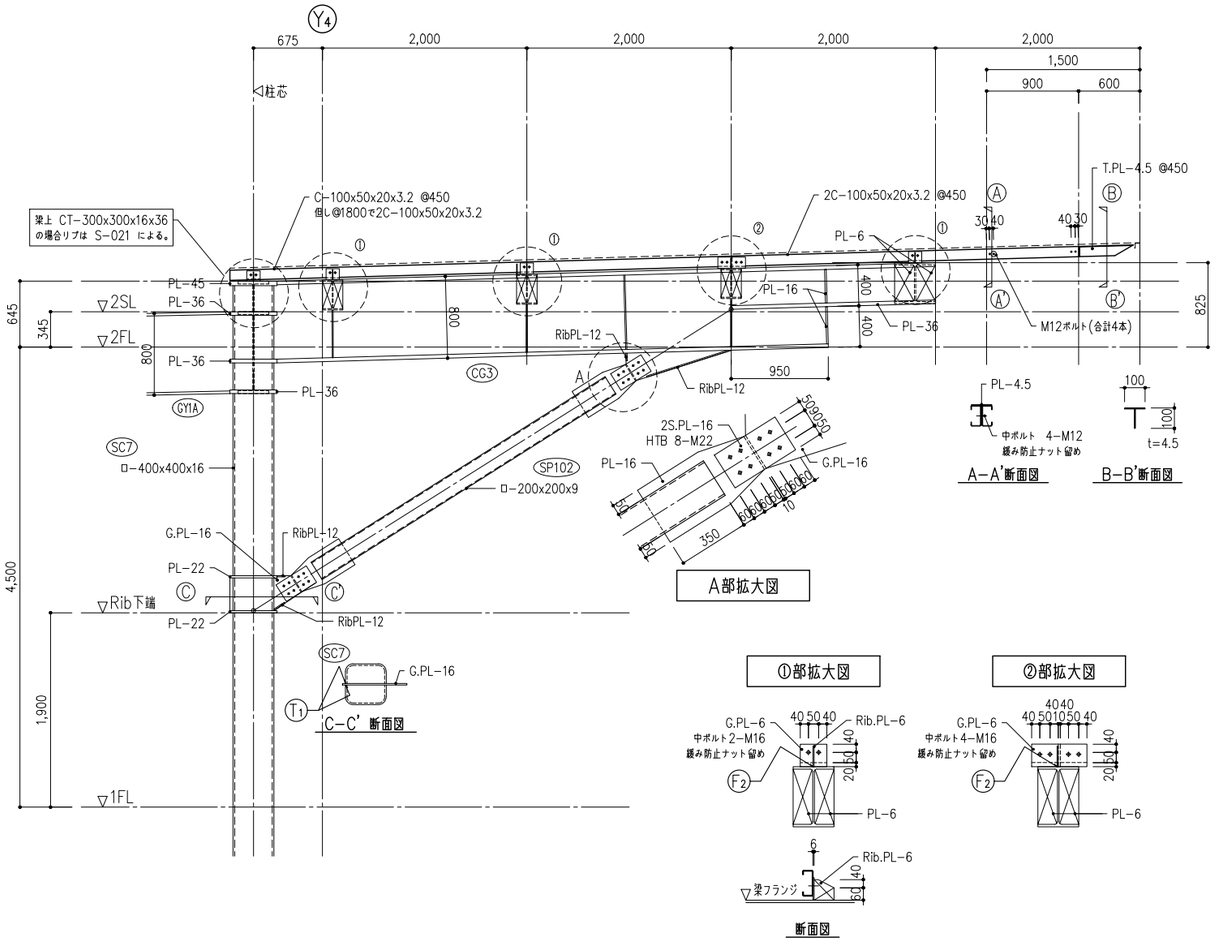


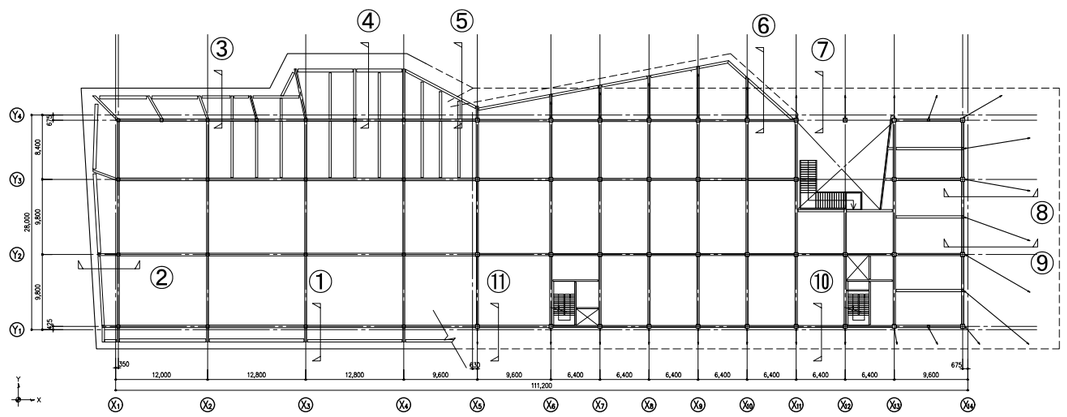
③断面詳細図

②断面は③断面に倣う。
②の梁上CTの幅は250、高さは勾配による。



④断面詳細図

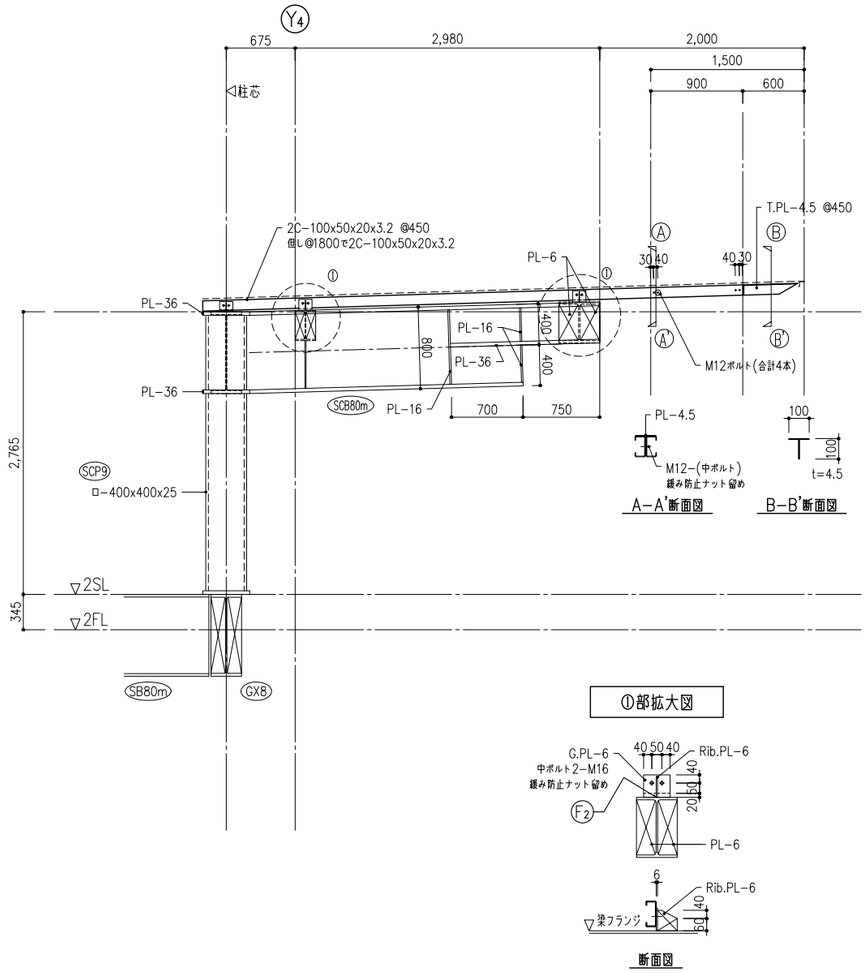




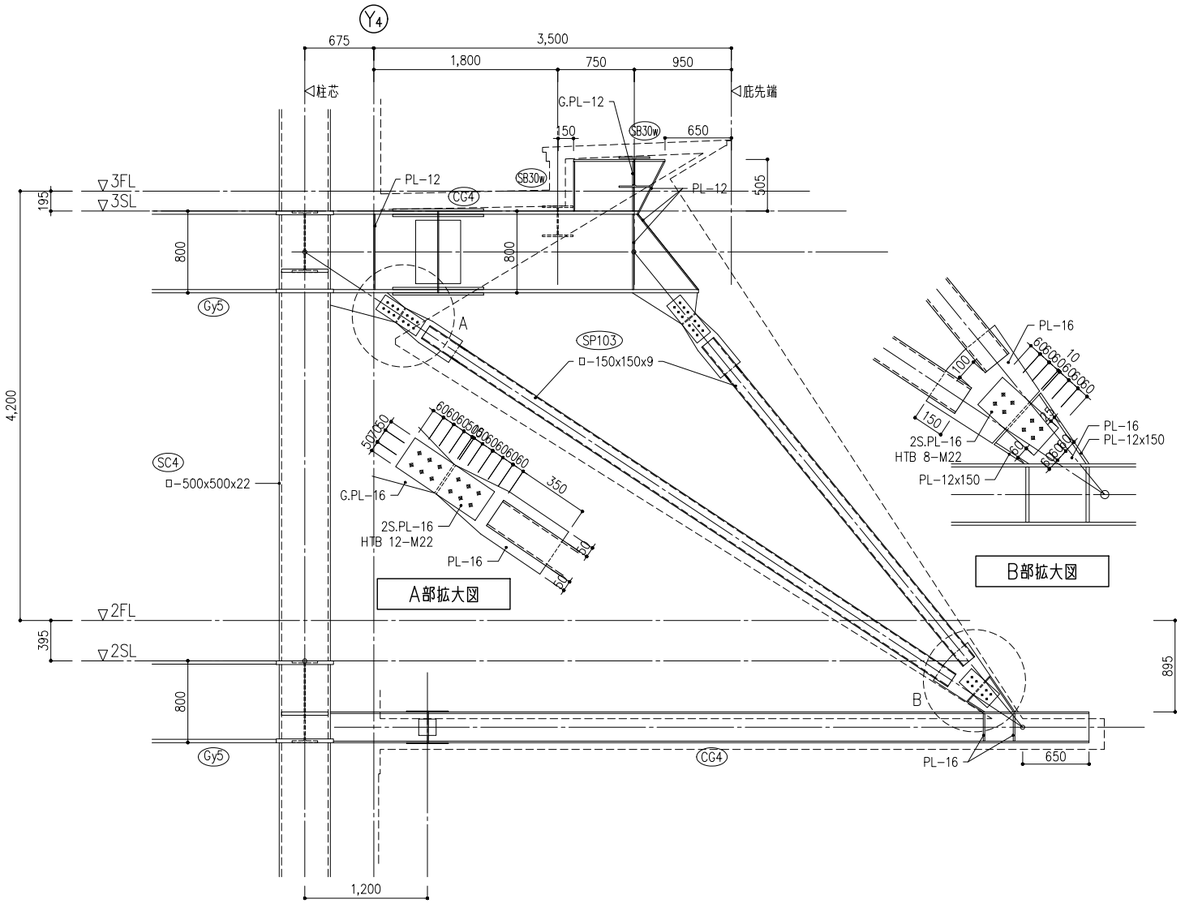
2F KEYPLAN

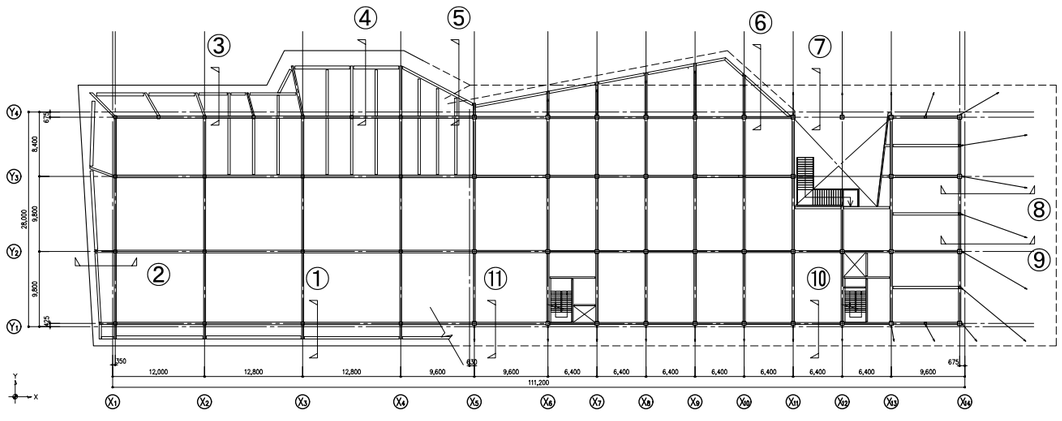
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 庇詳細図(1) 縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	設計者に無断で複製を禁ず 図面番号 S-402 設計年月日 2024.**.**

⑤断面詳細図



⑥断面詳細図



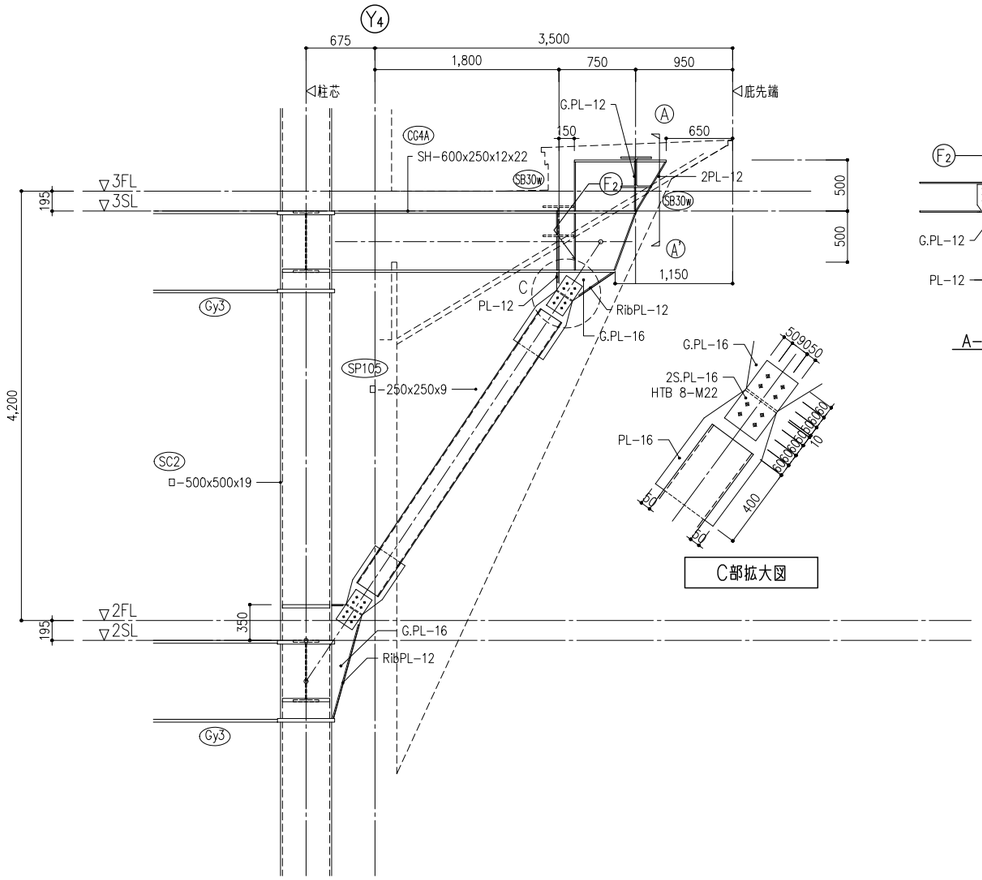


2F KEYPLAN

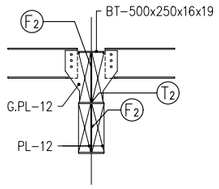
設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 端 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 庇詳細図(2) 縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 S-403 設計年月日 2024.**.**

⑦断面詳細図

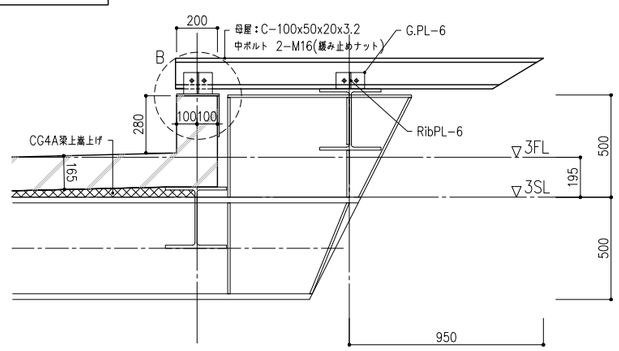


C部拡大図

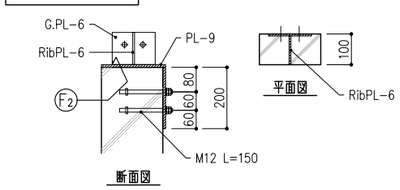


A-A' 断面図

母屋部分拡大図

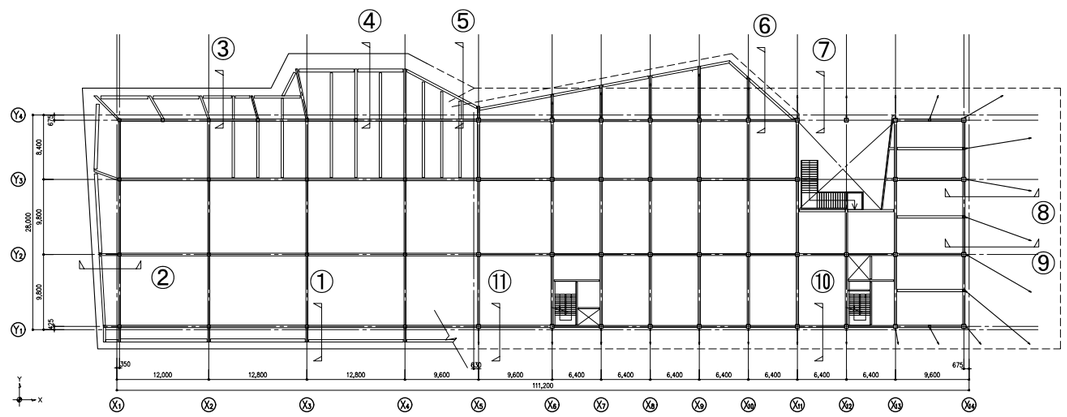


B部拡大図



断面図

平面図

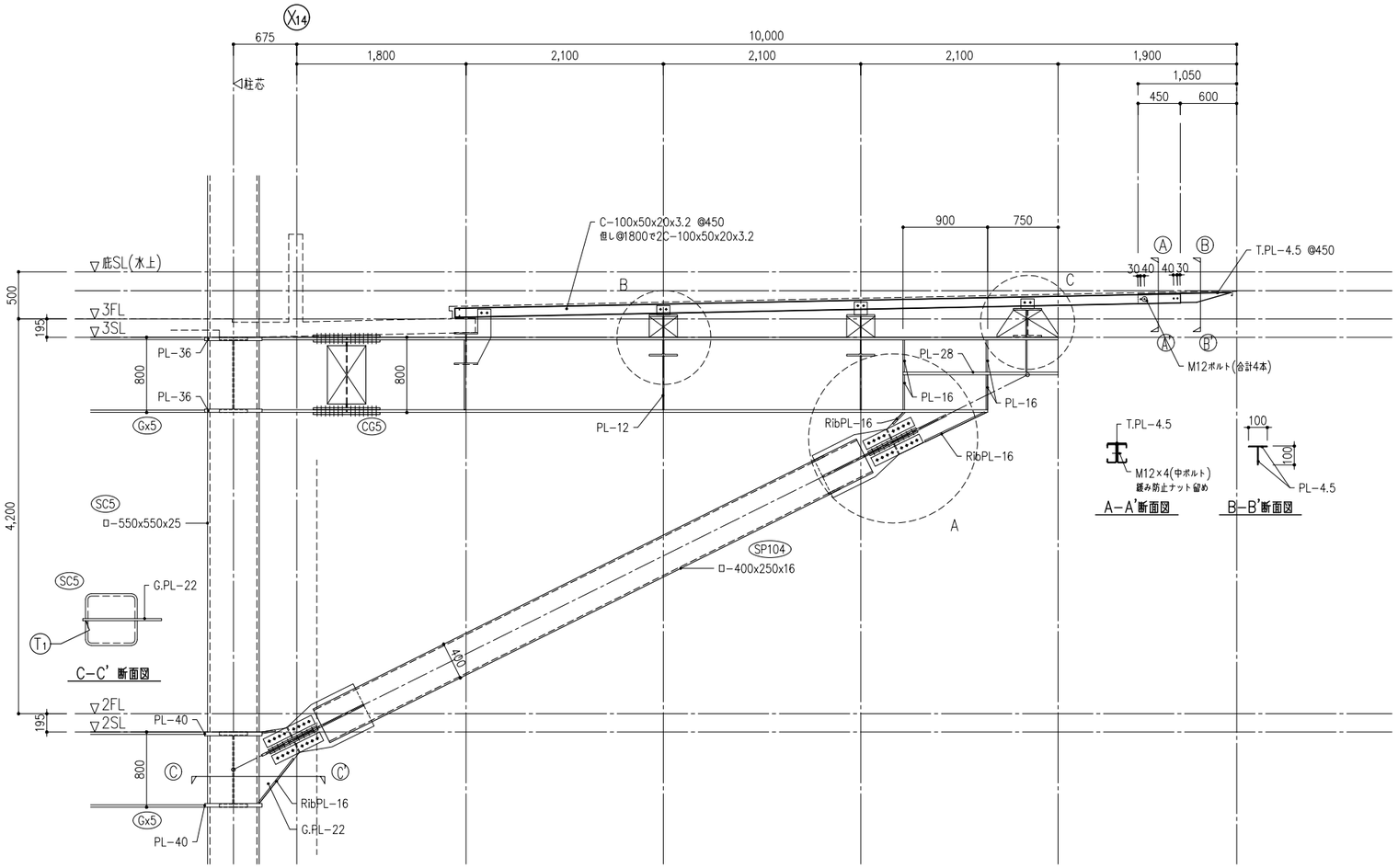


2F KEYPLAN

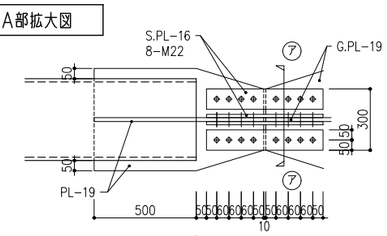
設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士（企業体代表） 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 端 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 庇詳細図(3) 縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 S-404 設計年月日 2024.**.**

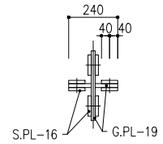
⑧断面詳細図



A部拡大図

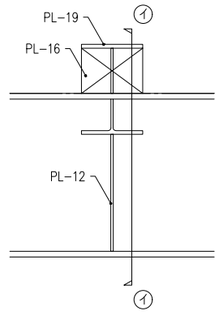


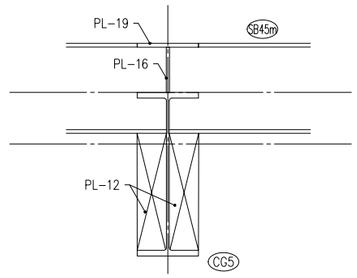
断面図



アーア 断面図

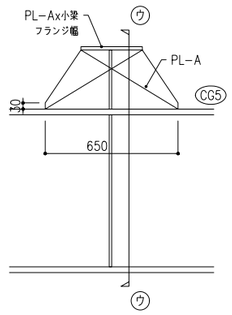
B部拡大図

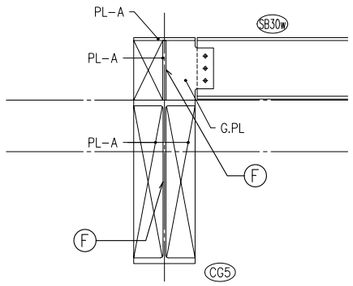




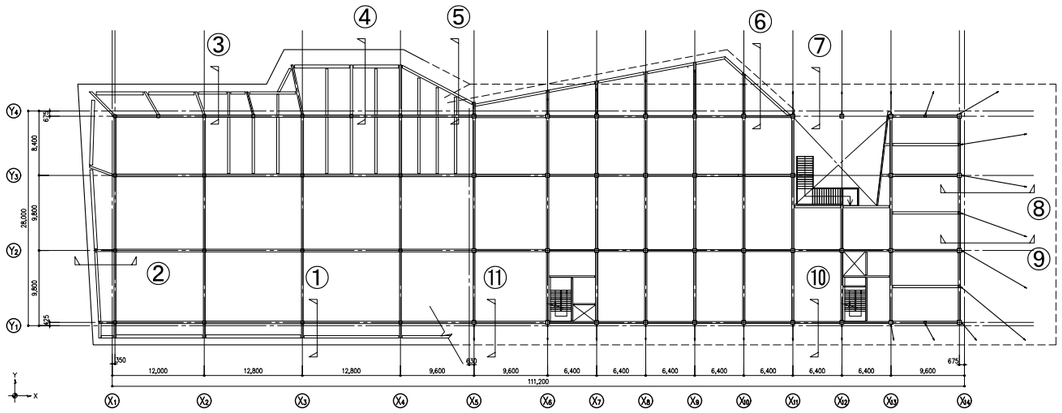
イーイ 断面図

C部(嵩上げ)拡大図





ウーウ 断面図

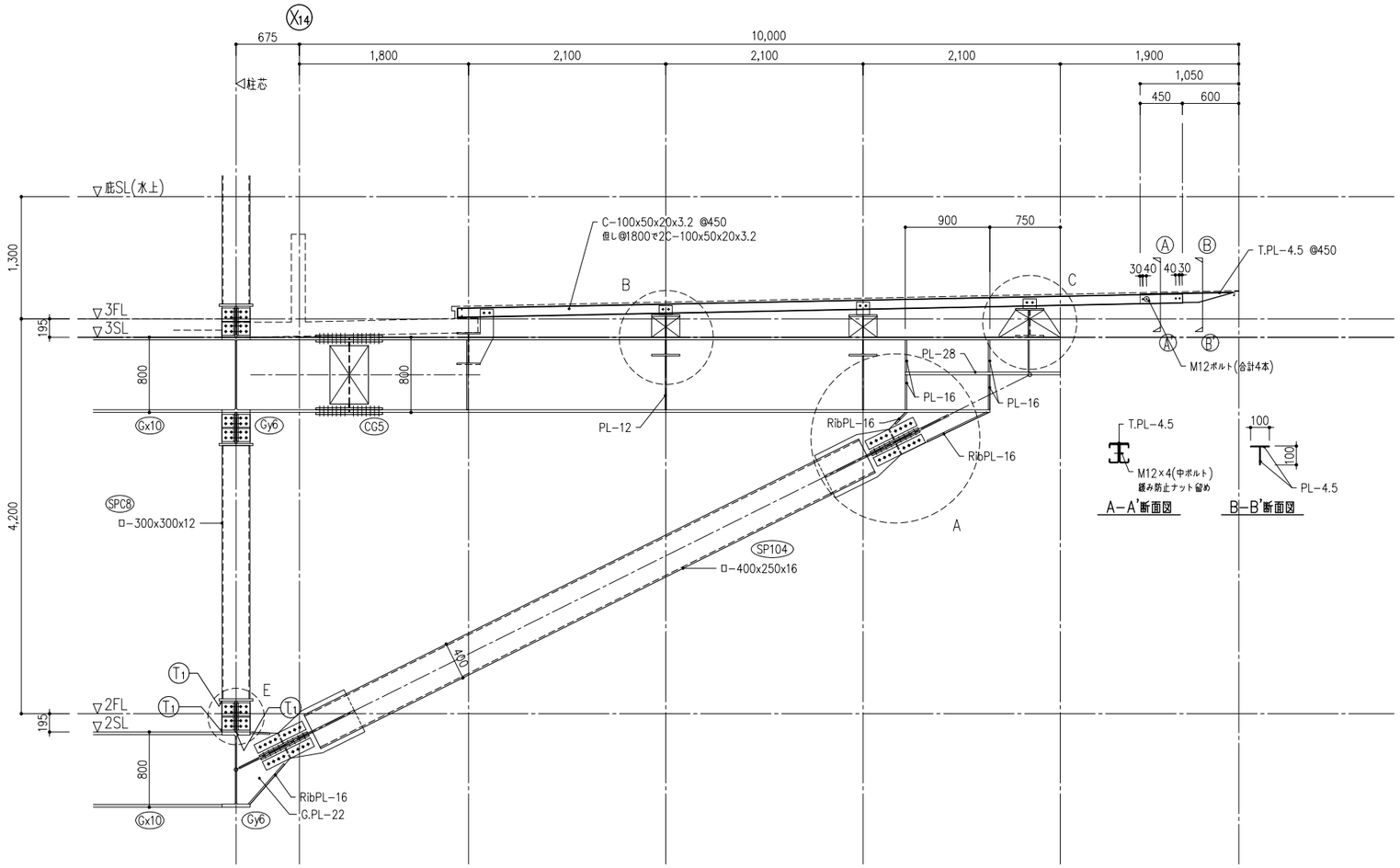


2F KEYPLAN

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 端 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 庇詳細図(4)	縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 S−405 設計年月日 2024.**.**

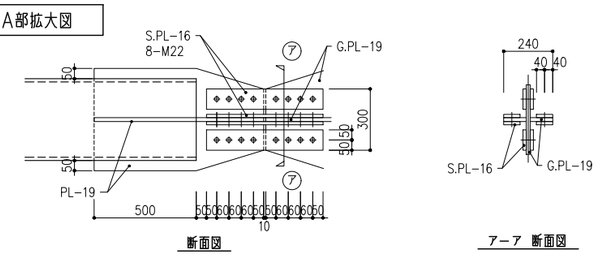
設計者に無断で複製を禁ず

⑨断面詳細図



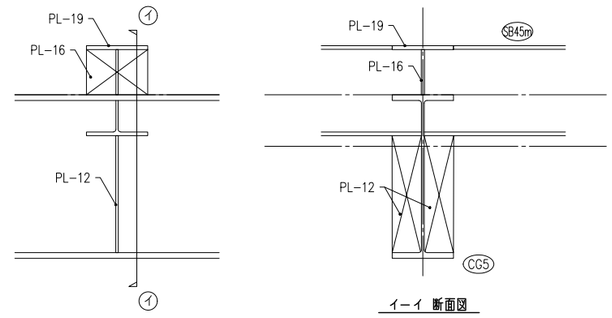
A-A'断面図　B-B'断面図

A部拡大図



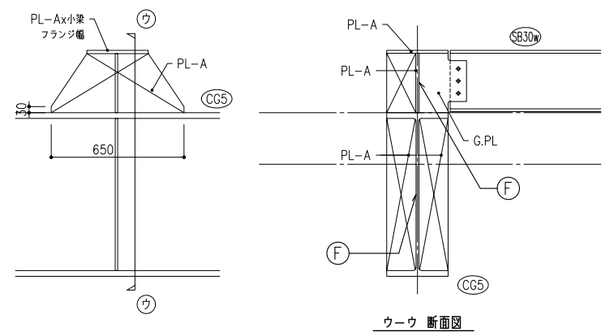
断面図　アーア 断面図

B部拡大図



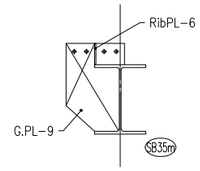
イーイ 断面図

C部(嵩上げ)拡大図

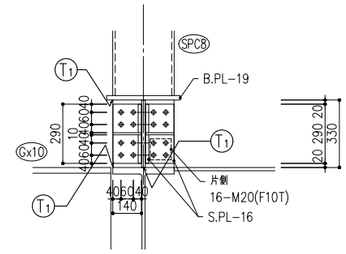


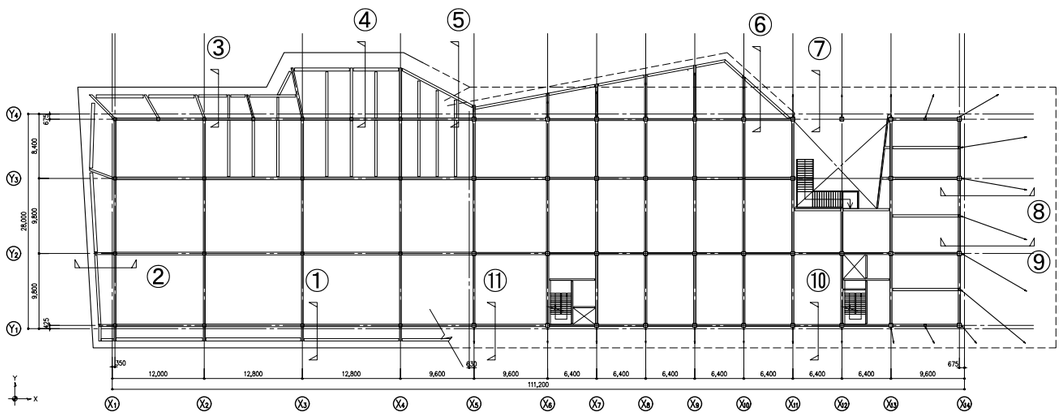
ウーウ 断面図

D部拡大図



E部拡大図



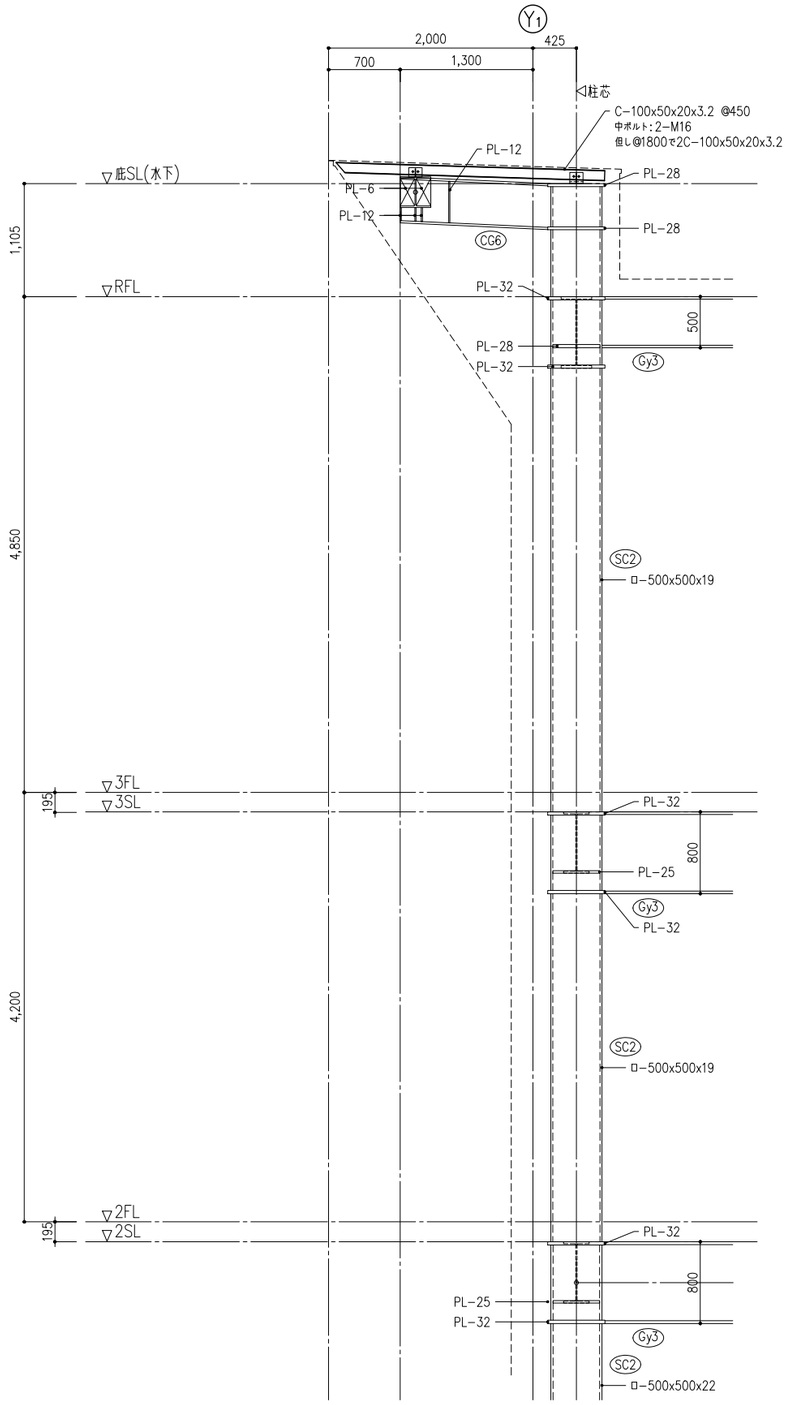


2F KEYPLAN

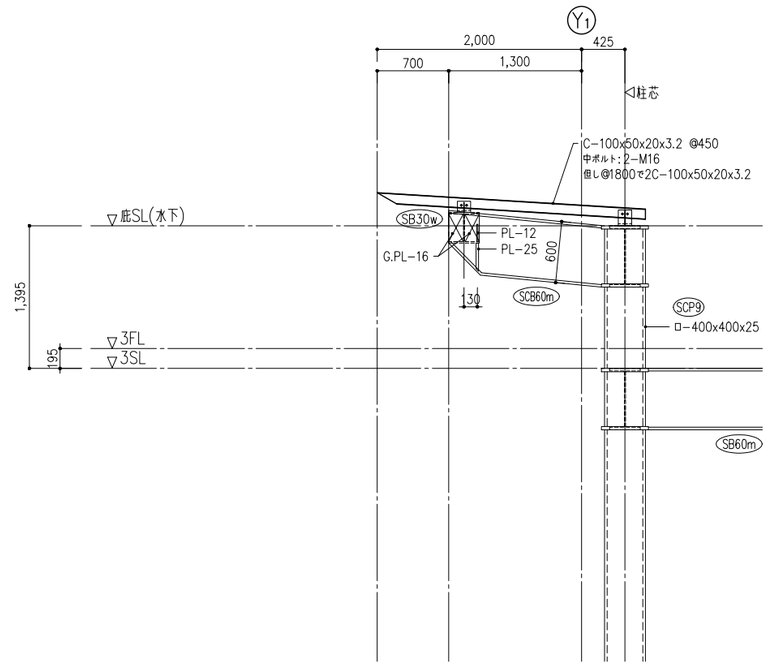
設計者に無断で複製を禁ず

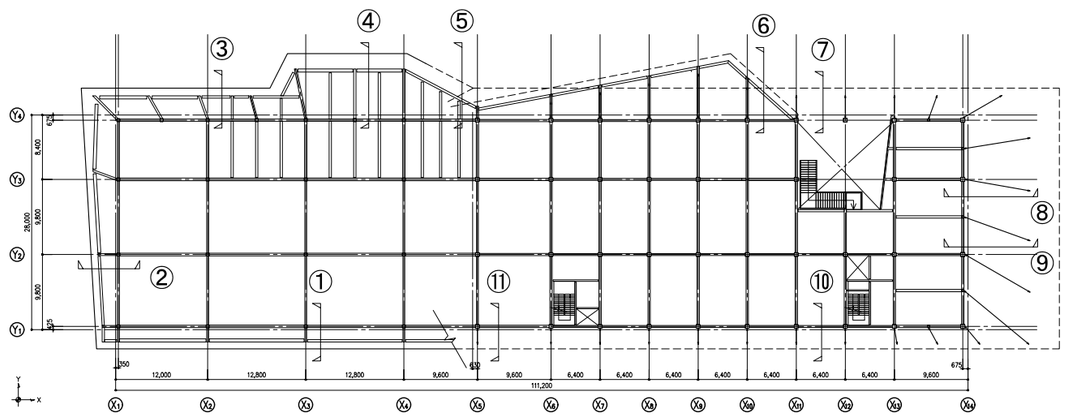
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 庇詳細図(5) 縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 S-406 設計年月日 2024.**.**

⑪断面詳細図



⑪断面詳細図





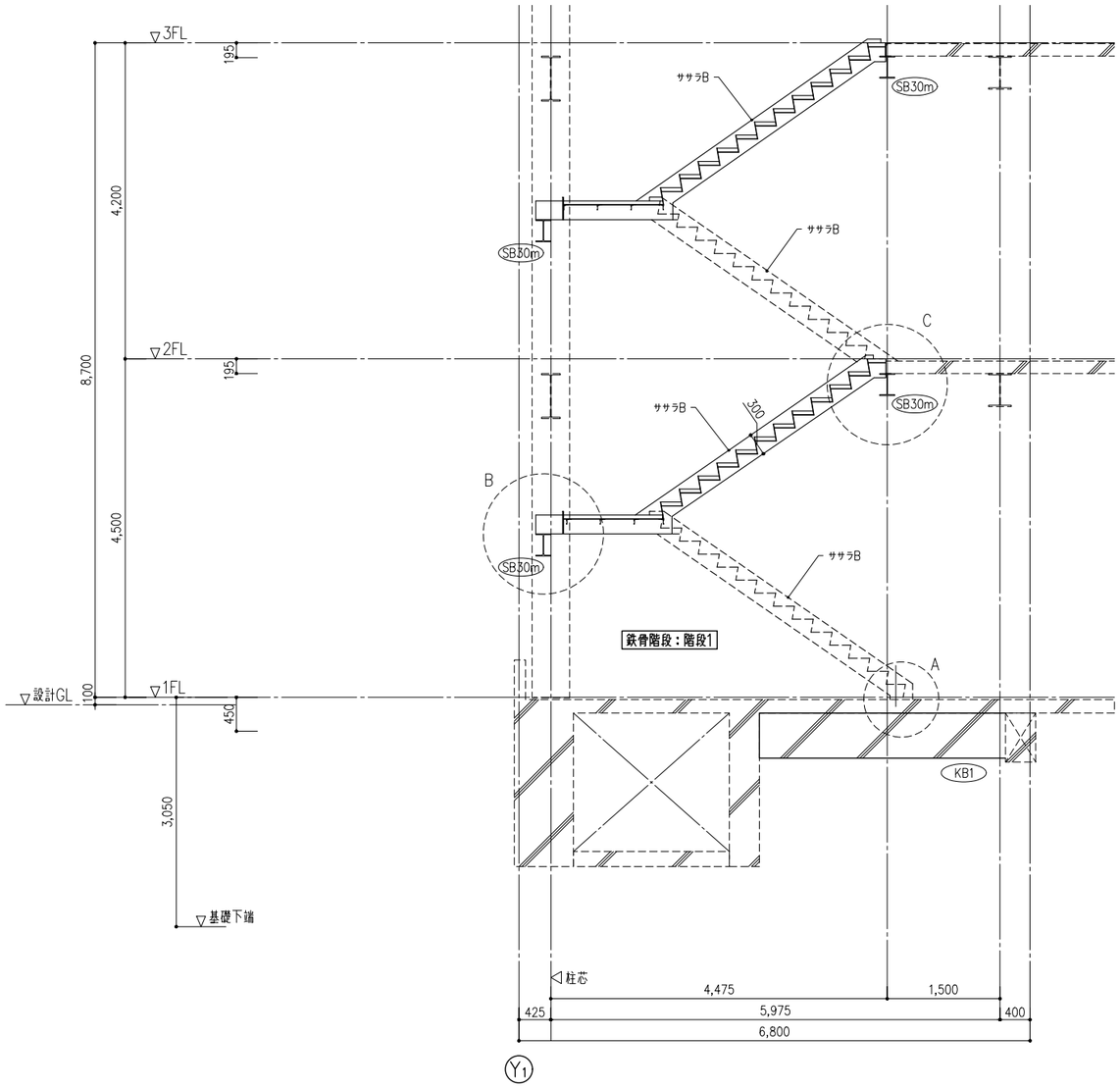
2F KEYPLAN

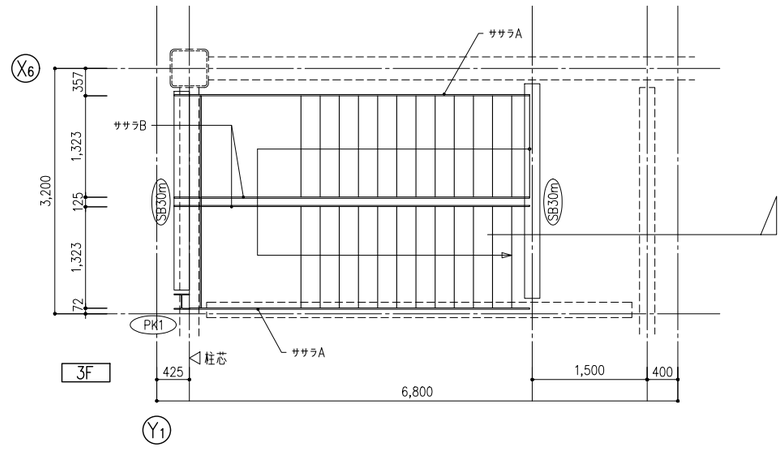
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 庇詳細図(6) 縮尺 A1 S=1:30 A3 S=1:60	図面番号 S-407 設計年月日 2024.**.**

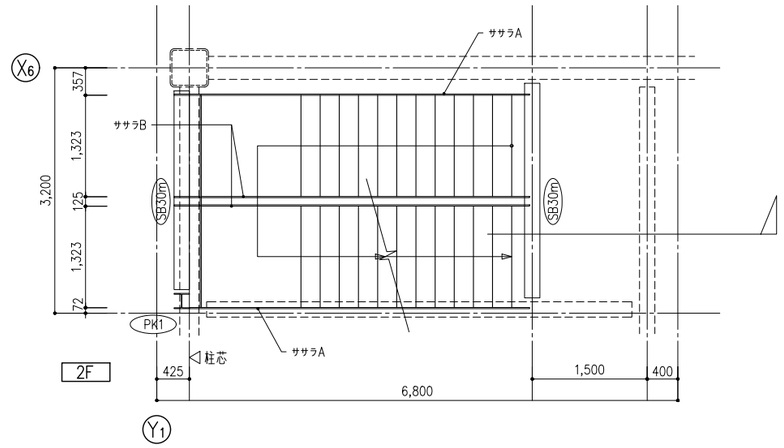
設計者に無断で複製を禁ず

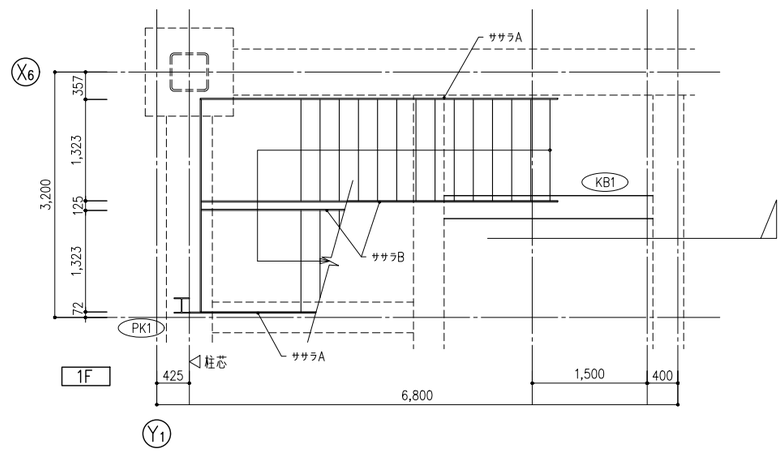
階段部材リスト

符号	断面	材質	継手	備考
PK1	H- 200 × 200 × 8 × 12	SS400	G.PL-9 HTB 4-M20	踊場受けポスト
SB30B	H- 294 × 200 × 8 × 12	SS400	G.PL-9 HTB 3-M20	踊場受け梁
ササラA	PL- 300 × 16	SS400	部分詳細 参照	ササラ桁（外）
ササラB	PL- 300 × 16（踊場250×16）	SS400	部分詳細 参照	ササラ桁（内）









設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

備考

管理建築士（企業体代表）
1級建築士事務所（渡）347号
1級建築士登録181500号
二本柳慶一

構造設計1級建築士
1級建築士事務所2564号
1級建築士登録313991号
構造設計1級建築士8138号
川端淳
本図（仕様書）に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。

設備設計1級建築士
本図（仕様書）に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。

設計担当
K.NIHONYANAGI
A.KAWAMOTO

作図担当
Y.SATO

工事名称
八雲町役場庁舎等建設工事実施設計

図面名称
階段詳細図(1) 階段1

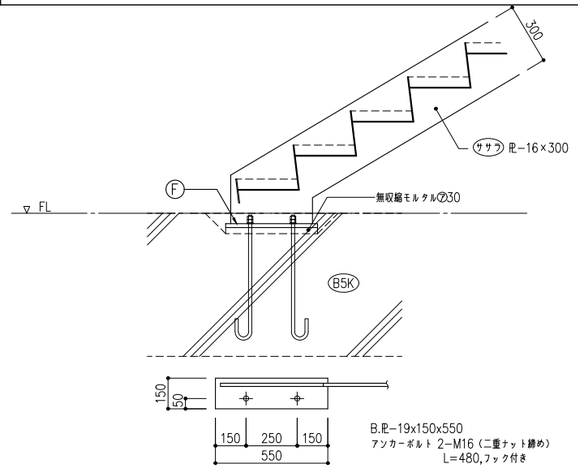
縮尺
A1 S=1:40
A3 S=1:80

図面番号
S-408

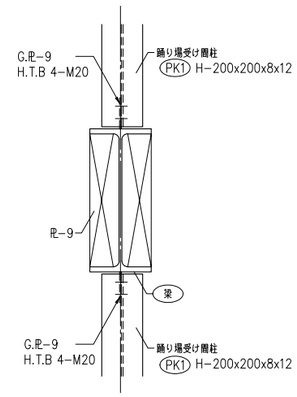
設計年月日
2024.**.**

鉄骨階段　詳細図（2）

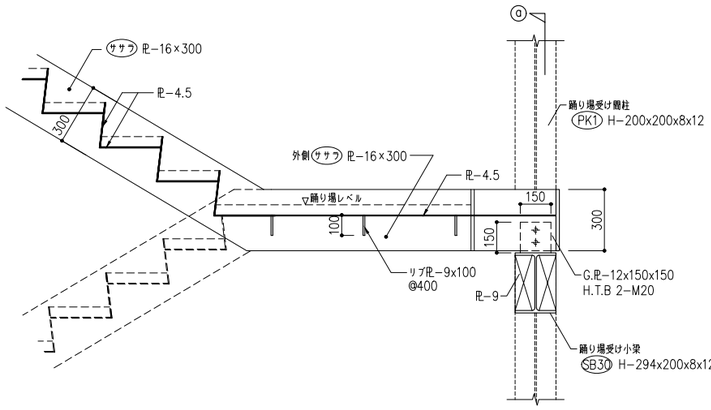
Ⓐ 部　ササラ桁脚部の納まり

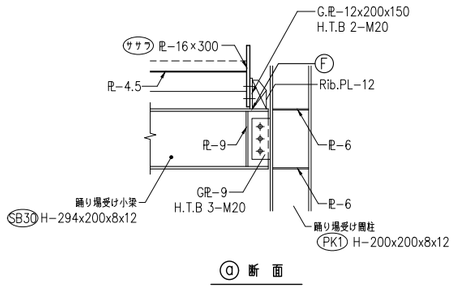


階段受け間柱と梁の取合い



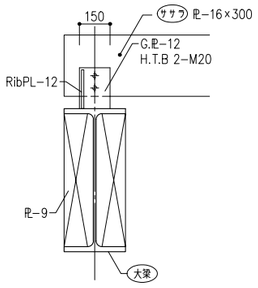
Ⓑ 部　ササラ桁と鉄骨小梁の取合い（踊り場レベル）





ⓐ 断　面

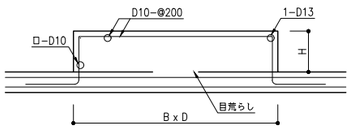
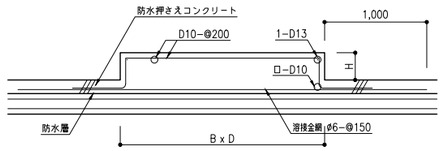
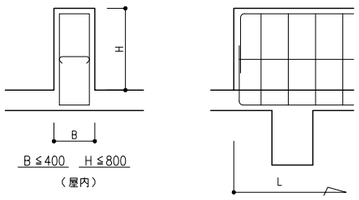
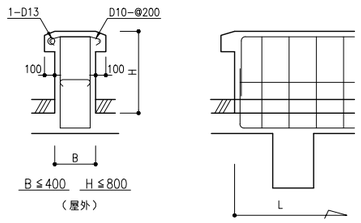
Ⓒ 部　ササラ桁と鉄骨大梁の取合い



設計者に無断で複製を禁ず

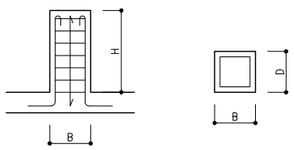
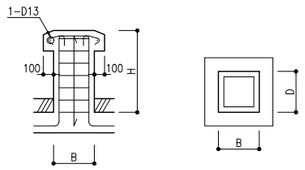
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士（企業体代表） 1級建築士事務所（渡）347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 端 淳 本図（仕様書）に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図（仕様書）に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 階段詳細図(2) 縮尺 A1 S=1:15 A3 S=1:30	図面番号 S-409 設計年月日 2024.**.**

設備機器基礎配筋図

タイプ	断　面	タイプ	断　面
A1	 200 < H ≦400 （屋内）	A2	 H ≦200 （屋外）
B1	 B ≦400　H ≦800 （屋内）	B2	 B ≦400　H ≦800 （屋外）

B	B ≦300	B ≦400	B > 400
上　端　筋	3−D19	4−D19	n−D19(n≧B/100)
下　端　筋	3−D19	4−D19	n−D19(n≧B/100)
スターラップ	D10−@200	D10−@150	D13−@150
腹　　筋	2−D10	2−D10	2−D10
巾　止　筋	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000

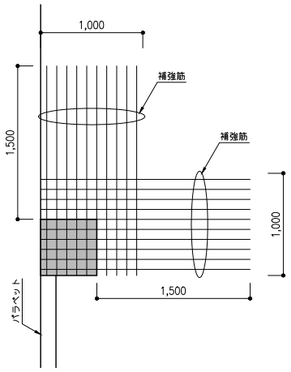
B	B ≦300	B ≦400	B > 400
上　端　筋	3−D19	4−D19	n−D19(n≧B/100)
下　端　筋	3−D19	4−D19	n−D19(n≧B/100)
スターラップ	D10−@200	D10−@150	D13−@150
腹　　筋	2−D10	2−D10	2−D10
巾　止　筋	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000

タイプ	断　面	タイプ	断　面
C1	 B , D ≦600　H ≦800 （屋内）	C2	 B , D ≦600　H ≦800 （屋外）

B, D	B,D ≦400	B,D ≦600
主　　筋	8−D19	12−D19
フ　ー　プ	D10−@100	D10−@100

B, D	B,D ≦400	B,D ≦600
主　　筋	8−D19	12−D19
フ　ー　プ	D10−@100	D10−@100

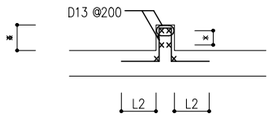
設備機器基礎配筋図



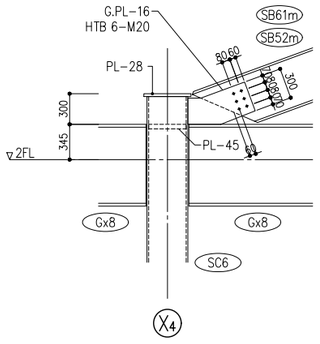
※補強筋はD13−@100を上下共
　スラブ主筋の間に追加すること
※パラペット付きの場合は補強筋不要

各種雑壁立上り配筋　1/30

※印及び特記なき寸法は、意匠図参照のこと。
＊：@200を超える場合は@200となるように縦筋を配筋

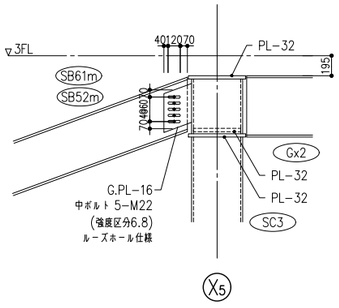


Y1,Y4−X4通り柱・梁接合部詳細　1/30



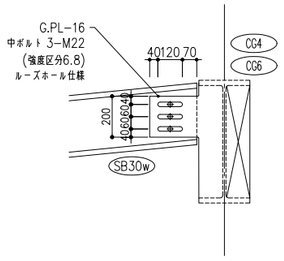
※各部高さや部材符号はY4通りの内容であるが、Y1通りも同様の考え方とする。

Y4−X5,Y1−X5,X6通り柱・梁接合部詳細　1/30

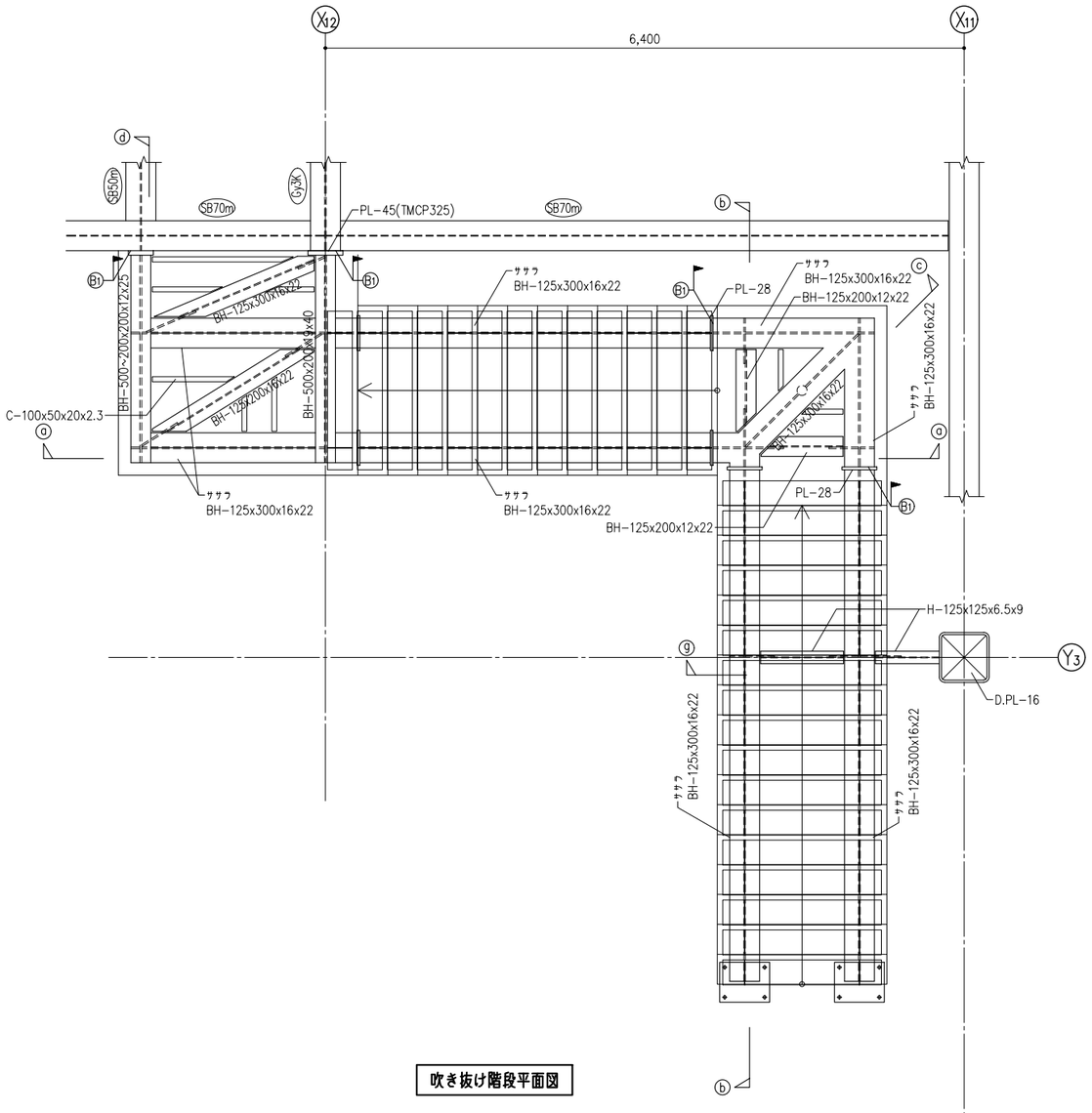


※各部高さや部材符号はY4通りの内容であるが、Y1通りも同様の考え方とする。

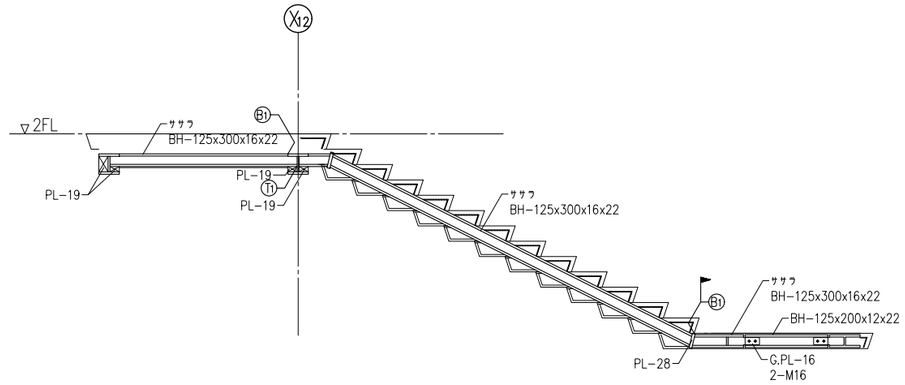
Y1−X6,Y4+3500−X5通り片持ち梁・小梁接合部詳細　1/30



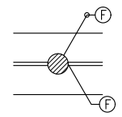
二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二 本 柳 慶 一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川 端 淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 雑詳細図 縮尺 A1　S=1:15,30 A3　S=1:30,60	設計者に無断で複製を禁ず 図面番号 S−410 設計年月日 2024.**.**



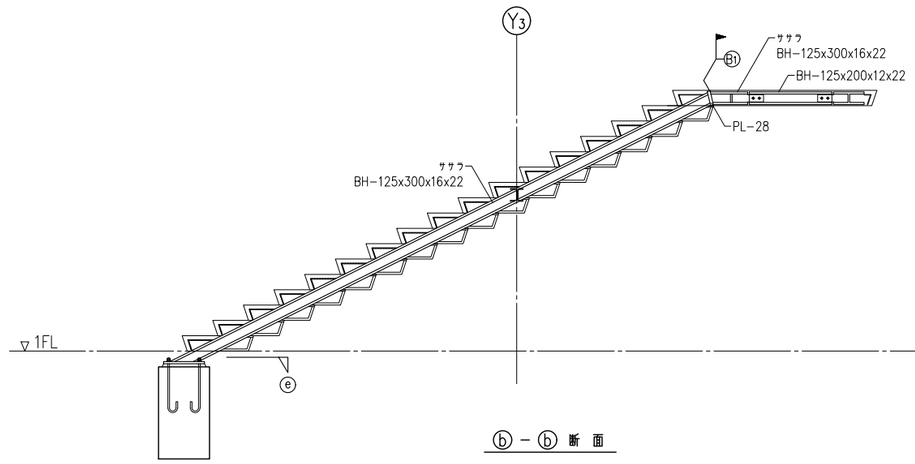
吹き抜け階段平面図



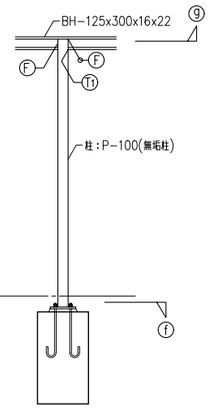
ⓐ－ⓐ 断 面



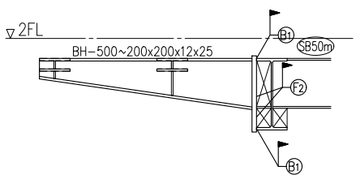
ⓖ 断 面 S=1:15



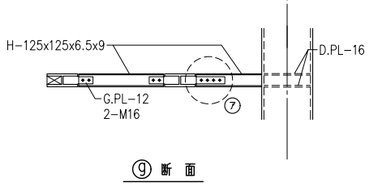
ⓑ－ⓑ 断 面



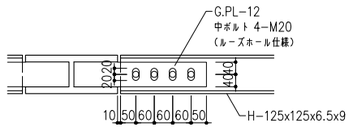
ⓒ 断 面



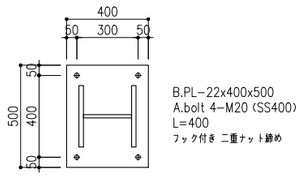
ⓓ 断 面



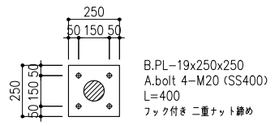
ⓖ 断 面



ⓖ部詳細図 S=1:10



ⓔ 断 面 S=1:15



ⓕ 断 面 S=1:15

設計者に無断で複製を禁ず

二本柳慶一建築研究所・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体	備考	管理建築士(企業体代表) 1級建築士事務所(渡)347号 1級建築士登録181500号 二本柳慶一	構造設計1級建築士 1級建築士事務所2564号 1級建築士登録313991号 構造設計1級建築士8138号 川端淳 本図(仕様書)に記載された事項は構造関係規定に適合することを確認した。	設備設計1級建築士 本図(仕様書)に記載された事項は設備関係規定に適合することを確認した。	設計担当 K.NIHONYANAGI A.KAWAMOTO 作図担当 Y.SATO	工事名称 八雲町役場庁舎等建設工事実施設計 図面名称 吹き抜け階段詳細図 縮尺 A1 S=1:15,30 A3 S=1:30,60	図面番号 S-411 設計年月日 2024.**.**